

【第6回熊野川流域治水協議会資料】
公表時に記載内容が変更になる場合があります。

新宮川水系 水害リスクマップ（案）

多段階浸水想定図及びリスクマップ図（R5年1月版）

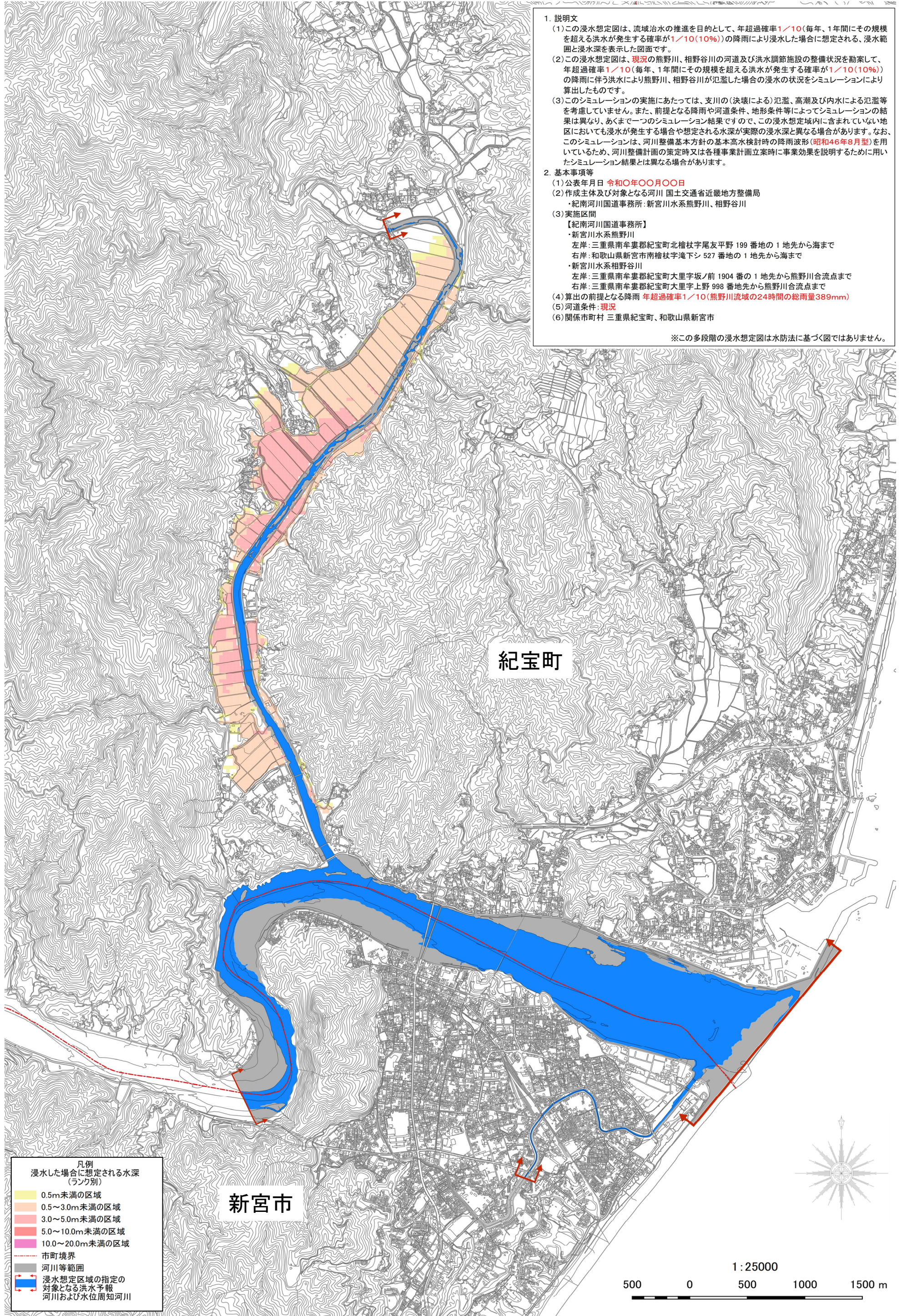
目 次

図面番号	図 名
1	新宮川水系国管理河川の浸水想定図（1/10規模降雨）【現況河道】
2	新宮川水系国管理河川の浸水想定図（1/30規模降雨）【現況河道】
3	新宮川水系国管理河川の浸水想定図（1/50規模降雨）【現況河道】
4	新宮川水系国管理河川の浸水想定図（1/100規模降雨）【現況河道】
5	新宮川水系国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ浸水深0cm【現況河道】
6	新宮川水系国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ浸水深50cm【現況河道】
7	新宮川水系国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ浸水深3m【現況河道】
8	新宮川水系国管理河川の浸水想定図（1/10規模降雨）【短期河道】
9	新宮川水系国管理河川の浸水想定図（1/30規模降雨）【短期河道】
10	新宮川水系国管理河川の浸水想定図（1/50規模降雨）【短期河道】
11	新宮川水系国管理河川の浸水想定図（1/100規模降雨）【短期河道】
12	新宮川水系国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ浸水深0cm【短期河道】
13	新宮川水系国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ浸水深50cm【短期河道】
14	新宮川水系国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ浸水深3m【短期河道】
15	新宮川水系国管理河川の浸水想定図（1/10規模降雨）【中長期河道】
16	新宮川水系国管理河川の浸水想定図（1/30規模降雨）【中長期河道】
17	新宮川水系国管理河川の浸水想定図（1/50規模降雨）【中長期河道】
18	新宮川水系国管理河川の浸水想定図（1/100規模降雨）【中長期河道】
19	新宮川水系国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ浸水深0cm【中長期河道】
20	新宮川水系国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ浸水深50cm【中長期河道】
21	新宮川水系国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ浸水深3m【中長期河道】

新宮川水系 国管理河川の浸水想定図（1/10規模降雨）

【現況河道】

【第6回熊野川流域治水協議会資料】
公表時に記載内容が変更になる場合があります。



1. 説明文
 (1) この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%))の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。
 (2) この浸水想定図は、**現況**の熊野川、相野谷川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%))の降雨に伴う洪水により熊野川、相野谷川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
 (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定域内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(昭和46年8月型)を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

2. 基本事項等
 (1) 公表年月日 **令和〇年〇〇月〇〇日**
 (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省近畿地方整備局
 ・紀南河川国道事務所: 新宮川水系熊野川、相野谷川
 (3) 実施区間
 【紀南河川国道事務所】
 ・新宮川水系熊野川
 左岸: 三重県南牟婁郡紀宝町北檜杖字尾友平野 199 番地の 1 地先から海まで
 右岸: 和歌山県新宮市南檜杖字滝下シ 527 番地の 1 地先から海まで
 ・新宮川水系相野谷川
 左岸: 三重県南牟婁郡紀宝町大里字坂ノ前 1904 番の 1 地先から熊野川合流点まで
 右岸: 三重県南牟婁郡紀宝町大里字上野 998 番地先から熊野川合流点まで
 (4) 算出の前提となる降雨 **年超過確率1/10(熊野川流域の24時間の総雨量389mm)**
 (5) 河道条件: **現況**
 (6) 関係市町村 三重県紀宝町、和歌山県新宮市

※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。

凡例
 浸水した場合に想定される水深
 (ランク別)

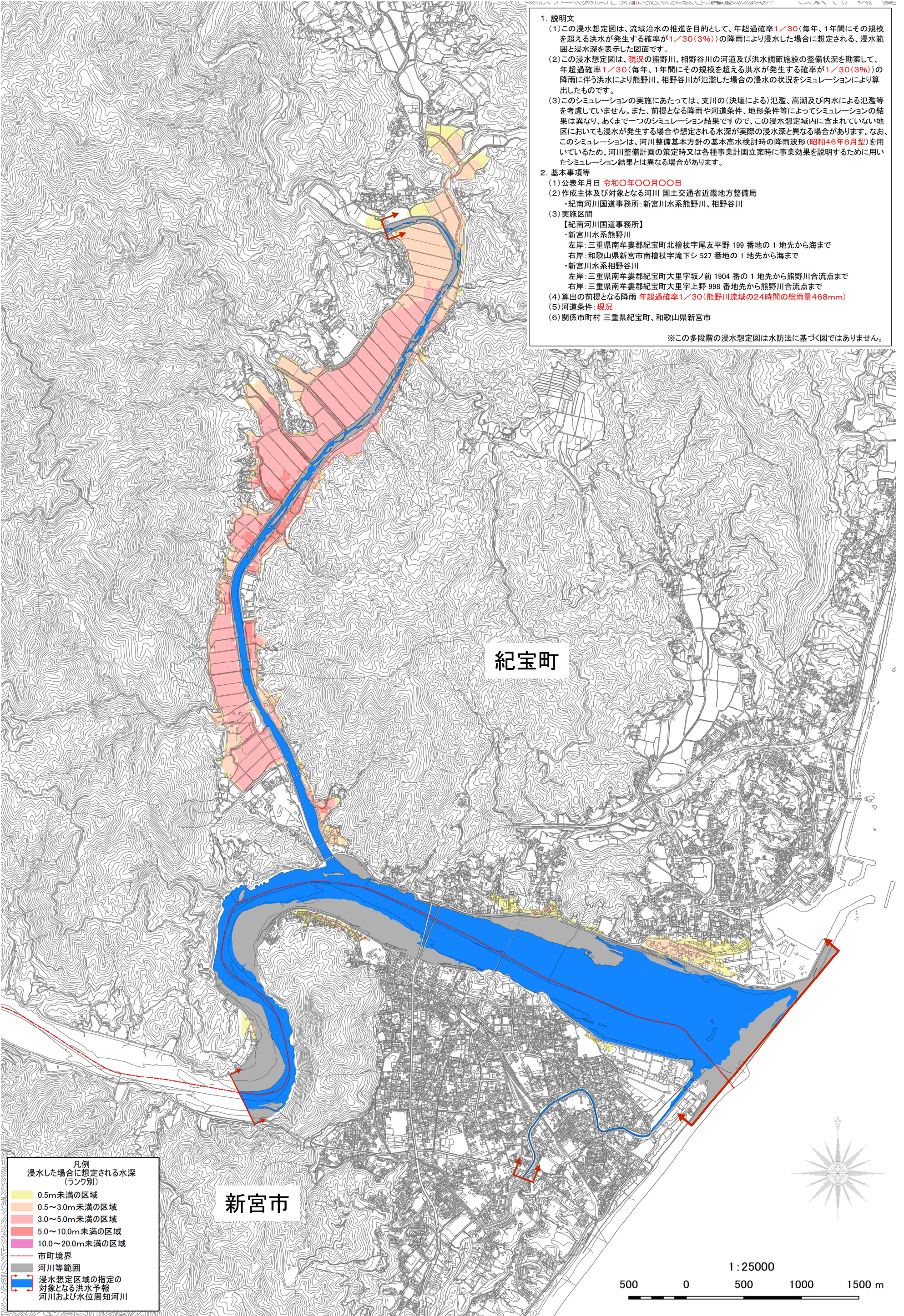
- 0.5m未満の区域
- 0.5~3.0m未満の区域
- 3.0~5.0m未満の区域
- 5.0~10.0m未満の区域
- 10.0~20.0m未満の区域
- 市町境界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川および水位周知河川

1:25000
 500 0 500 1000 1500 m

新宮川水系 国管理河川の浸水想定図（1/30規模降雨）

【現況河道】

【第6回熊野川流域治水協議会資料】
公表時に記載内容が変更になる場合があります。



1. 説明文
 (1) この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%))の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。
 (2) この浸水想定図は、**現況**の熊野川、相野谷川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%))の降雨に伴う洪水により熊野川、相野谷川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
 (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定域内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(昭和46年8月型)を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

2. 基本事項等
 (1) 公表年月日 **令和〇年〇〇月〇〇日**
 (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省近畿地方整備局
 ・紀南河川国道事務所: 新宮川水系熊野川、相野谷川
 (3) 実施区間
 【紀南河川国道事務所】
 ・新宮川水系熊野川
 左岸: 三重県南牟婁郡紀宝町北檜杖字尾友平野 199 番地の 1 地先から海まで
 右岸: 和歌山県新宮市南檜杖字滝下シ 527 番地の 1 地先から海まで
 ・新宮川水系相野谷川
 左岸: 三重県南牟婁郡紀宝町大里字坂ノ前 1904 番の 1 地先から熊野川合流点まで
 右岸: 三重県南牟婁郡紀宝町大里字上野 998 番地先から熊野川合流点まで
 (4) 算出の前提となる降雨 **年超過確率1/30(熊野川流域の24時間の総雨量468mm)**
 (5) 河道条件: **現況**
 (6) 関係市町村 三重県紀宝町、和歌山県新宮市

※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。

凡例
 浸水した場合に想定される水深
 (ランク別)

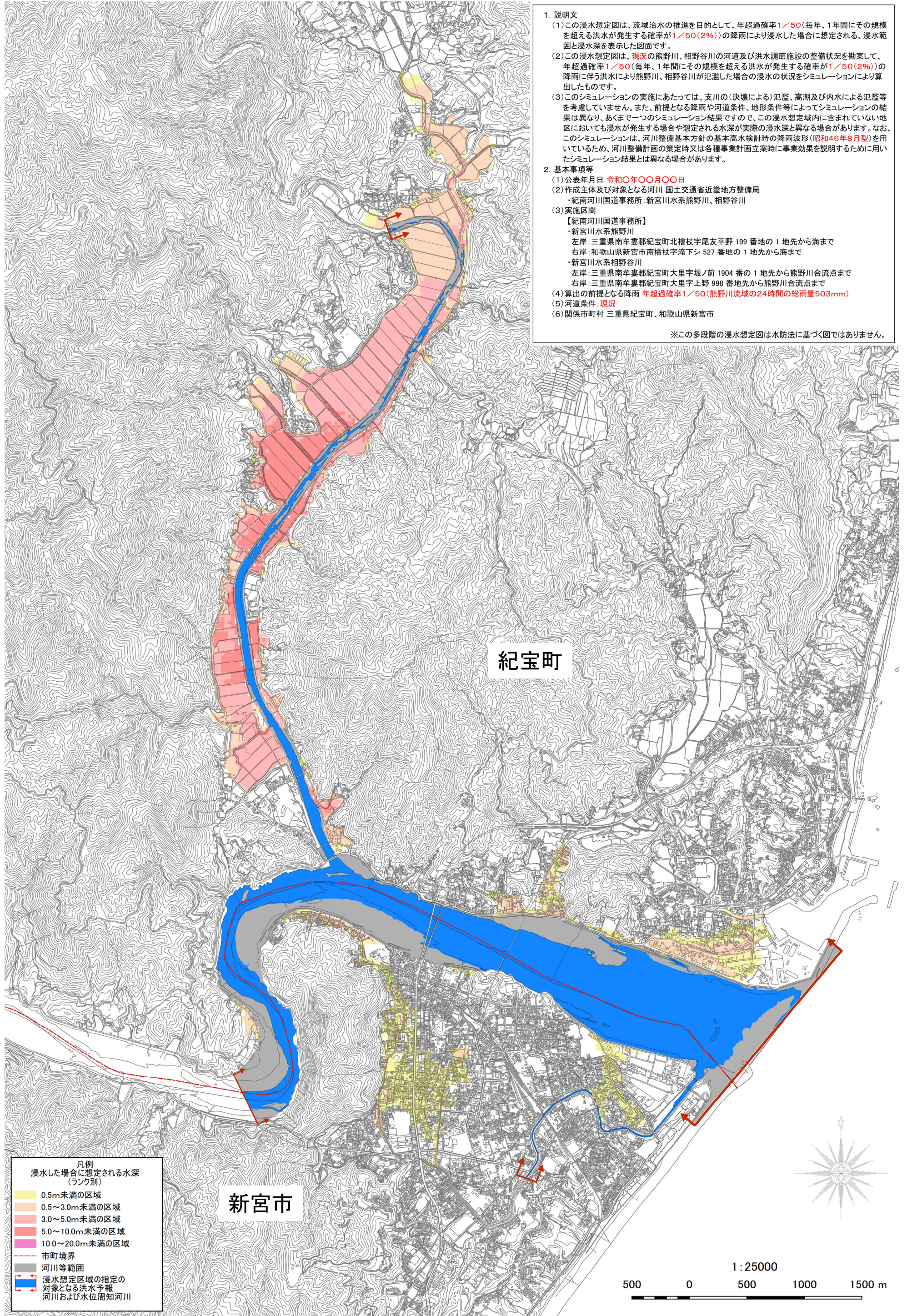
- 0.5m未満の区域
- 0.5~3.0m未満の区域
- 3.0~5.0m未満の区域
- 5.0~10.0m未満の区域
- 10.0~20.0m未満の区域
- 市町境界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川および水位周知河川

1:25000
 500 0 500 1000 1500 m

新宮川水系 国管理河川の浸水想定図（1/50規模降雨）

【現況河道】

【第6回熊野川流域治水協議会資料】
公表時に記載内容が変更になる場合があります。



1. 説明文
 (1) この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%))の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。
 (2) この浸水想定図は、**現況**の熊野川、相野谷川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%))の降雨に伴う洪水により熊野川、相野谷川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
 (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定域内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(昭和46年8月型)を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

2. 基本事項等
 (1) 公表年月日 **令和〇年〇〇月〇〇日**
 (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省近畿地方整備局
 ・紀南河川国道事務所: 新宮川水系熊野川、相野谷川
 (3) 実施区間
 【紀南河川国道事務所】
 ・新宮川水系熊野川
 左岸: 三重県南牟婁郡紀宝町北檜杖字尾友平野 199 番地の 1 地先から海まで
 右岸: 和歌山県新宮市南檜杖字滝下シ 527 番地の 1 地先から海まで
 ・新宮川水系相野谷川
 左岸: 三重県南牟婁郡紀宝町大里字坂ノ前 1904 番の 1 地先から熊野川合流点まで
 右岸: 三重県南牟婁郡紀宝町大里字上野 998 番地先から熊野川合流点まで
 (4) 算出の前提となる降雨 **年超過確率1/50(熊野川流域の24時間の総雨量503mm)**
 (5) 河道条件: **現況**
 (6) 関係市町村 三重県紀宝町、和歌山県新宮市

※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。

凡例
 浸水した場合に想定される水深
 (ランク別)

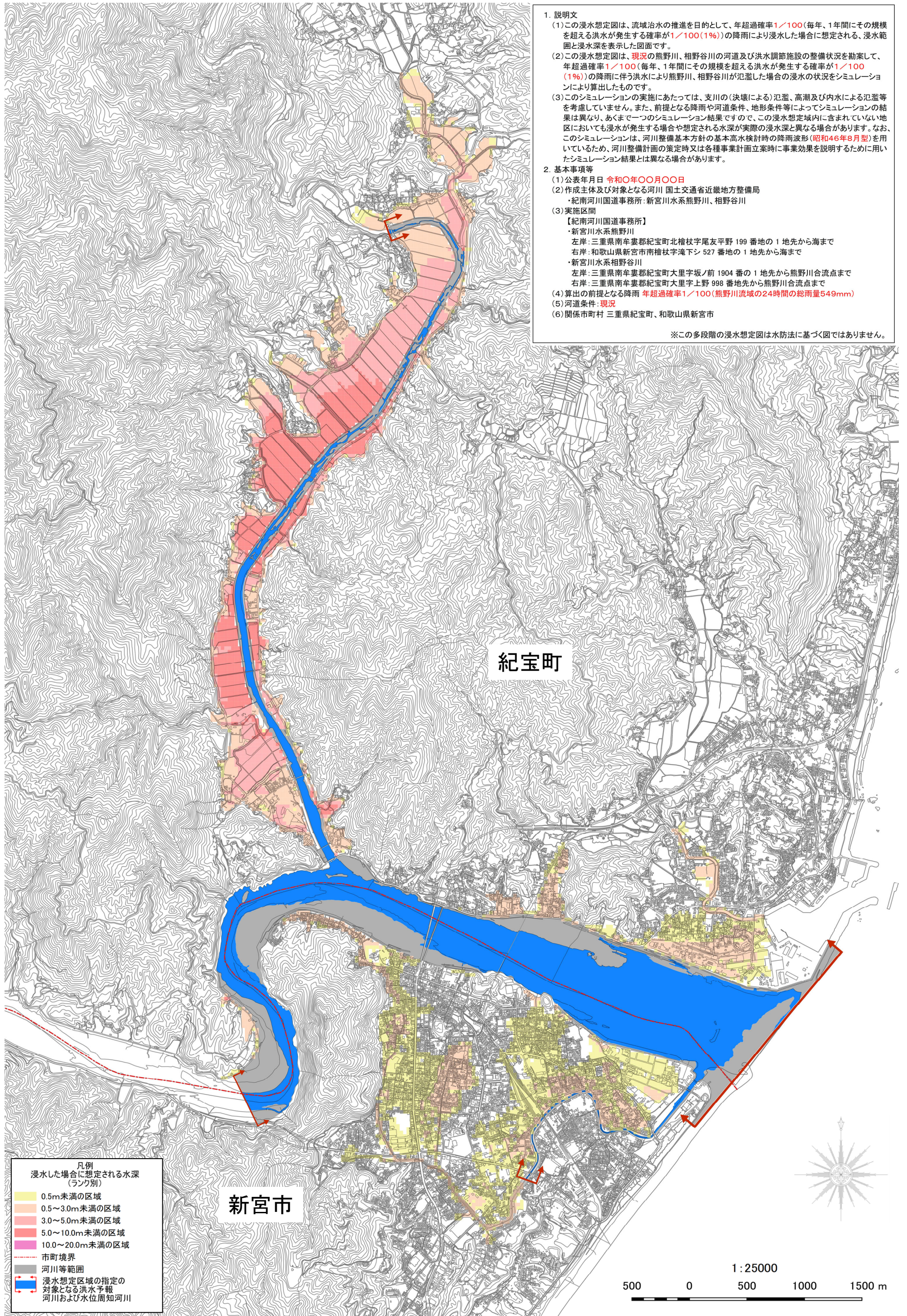
- 0.5m未満の区域
- 0.5~3.0m未満の区域
- 3.0~5.0m未満の区域
- 5.0~10.0m未満の区域
- 10.0~20.0m未満の区域
- 市町境界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川および水位周知河川

1:25000
 500 0 500 1000 1500 m

新宮川水系 国管理河川の浸水想定図（1/100規模降雨）

【現況河道】

【第6回熊野川流域治水協議会資料】
公表時に記載内容が変更になる場合があります。



1. 説明文
 (1) この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%))の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。
 (2) この浸水想定図は、現況の熊野川、相野谷川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%))の降雨に伴う洪水により熊野川、相野谷川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
 (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定域内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(昭和46年8月型)を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

2. 基本事項等
 (1) 公表年月日 令和〇年〇〇月〇〇日
 (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省近畿地方整備局
 ・紀南河川国道事務所: 新宮川水系熊野川、相野谷川
 (3) 実施区間
 【紀南河川国道事務所】
 ・新宮川水系熊野川
 左岸: 三重県南牟婁郡紀宝町北檜杖字尾友平野 199 番地の 1 地先から海まで
 右岸: 和歌山県新宮市南檜杖字滝下シ 527 番地の 1 地先から海まで
 ・新宮川水系相野谷川
 左岸: 三重県南牟婁郡紀宝町大里字坂ノ前 1904 番の 1 地先から熊野川合流点まで
 右岸: 三重県南牟婁郡紀宝町大里字上野 998 番地先から熊野川合流点まで
 (4) 算出の前提となる降雨 年超過確率1/100(熊野川流域の24時間の総雨量549mm)
 (5) 河道条件: 現況
 (6) 関係市町村 三重県紀宝町、和歌山県新宮市

※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。

凡例
 浸水した場合に想定される水深
 (ランク別)

- 0.5m未満の区域
- 0.5~3.0m未満の区域
- 3.0~5.0m未満の区域
- 5.0~10.0m未満の区域
- 10.0~20.0m未満の区域
- 市町境界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川および水位周知河川

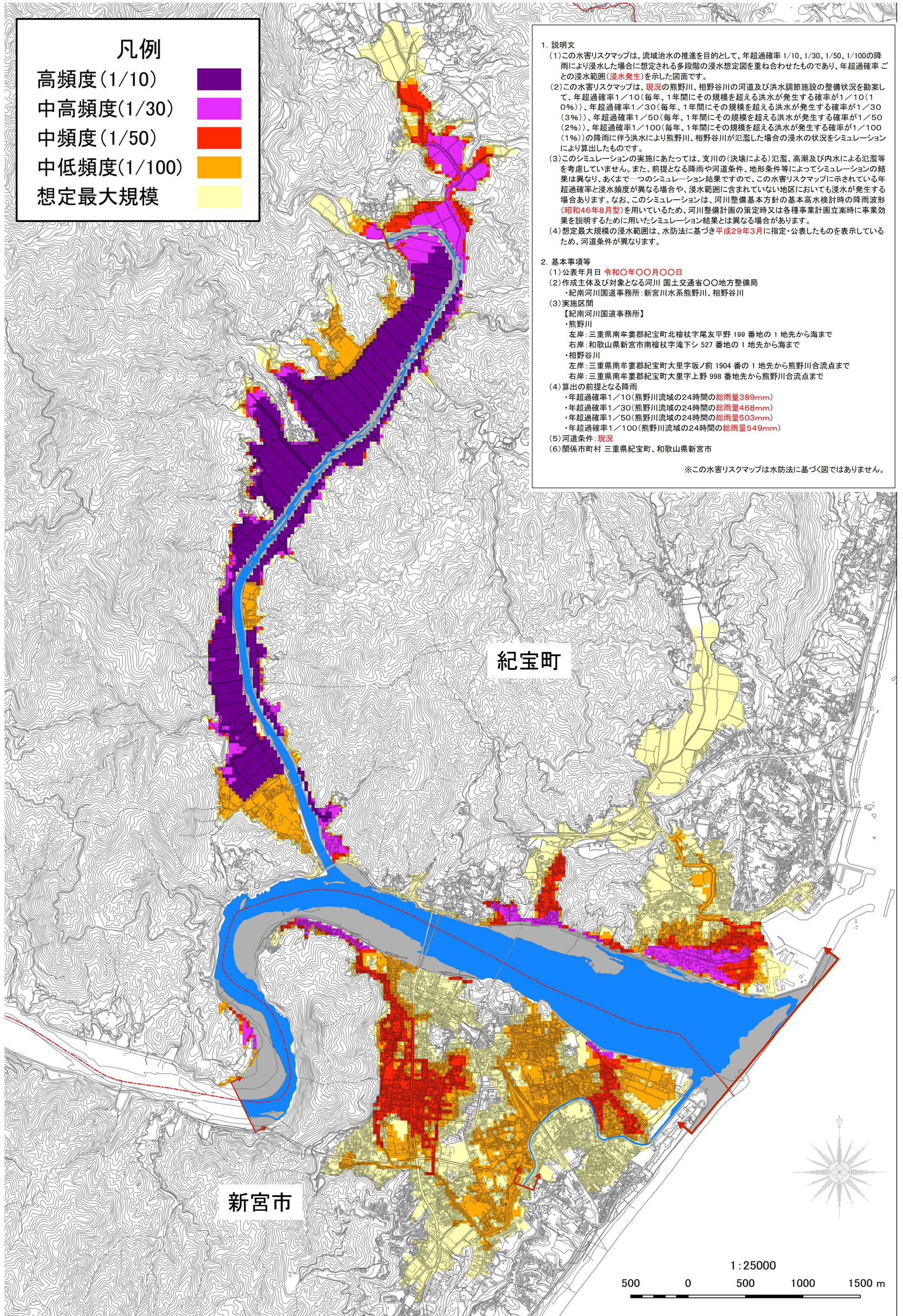
1:25000
 500 0 500 1000 1500 m

新宮川水系 国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ

【第6回熊野川流域治水協議会資料】
公表時に記載内容が変更になる場合があります。

【現況河道】

浸水が想定される範囲を表示

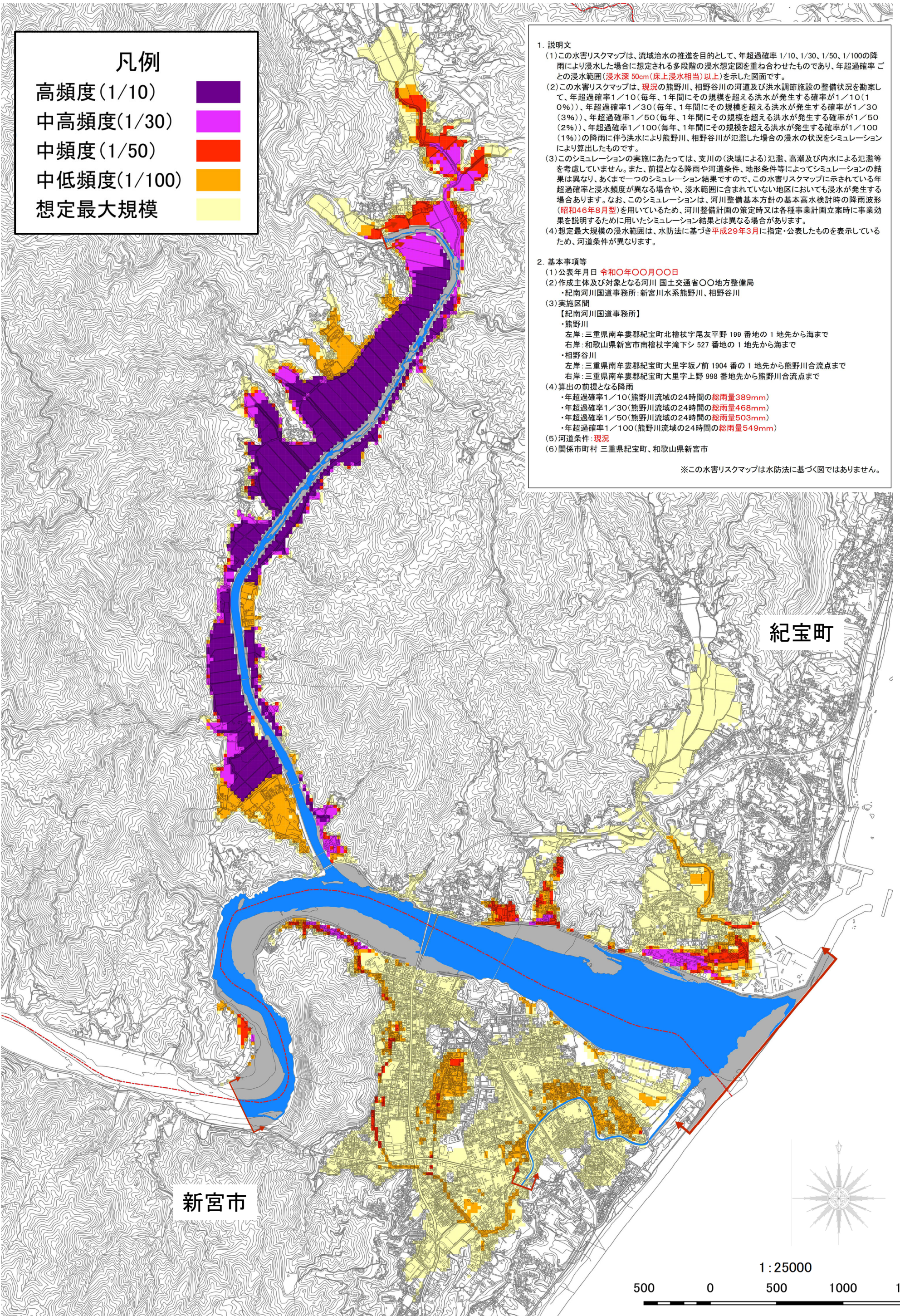


新宮川水系 国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ

【現況河道】

浸水深50cm(床上浸水相当)以上の
浸水が想定される範囲を表示

【第6回熊野川流域治水協議会資料】
公表時に記載内容が変更になる場合があります。



凡例

- 高頻度(1/10)
- 中高頻度(1/30)
- 中頻度(1/50)
- 中低頻度(1/100)
- 想定最大規模






1. 説明文
 - (1)この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲(浸水深50cm(床上浸水相当)以上)を示した図面です。
 - (2)この水害リスクマップは、現況の熊野川、相野谷川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%)、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%)、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%)、年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%)の降雨に伴う洪水により熊野川、相野谷川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
 - (3)このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(昭和46年8月型)を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
 - (4)想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成29年3月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。
 2. 基本事項等
 - (1)公表年月日 令和〇年〇〇月〇〇日
 - (2)作成主体及び対象となる河川 国土交通省〇〇地方整備局
 - ・紀南河川国道事務所:新宮川水系熊野川、相野谷川
 - (3)実施区間
 - 【紀南河川国道事務所】
 - ・熊野川
 - 左岸:三重県南牟婁郡紀宝町北檜杖字尾友平野 199 番地の 1 地先から海まで
 - 右岸:和歌山県新宮市南檜杖字滝下シ 527 番地の 1 地先から海まで
 - ・相野谷川
 - 左岸:三重県南牟婁郡紀宝町大里字坂ノ前 1904 番の 1 地先から熊野川合流点まで
 - 右岸:三重県南牟婁郡紀宝町大里字上野 998 番地先から熊野川合流点まで
 - (4)算出の前提となる降雨
 - ・年超過確率1/10(熊野川流域の24時間の総雨量389mm)
 - ・年超過確率1/30(熊野川流域の24時間の総雨量468mm)
 - ・年超過確率1/50(熊野川流域の24時間の総雨量503mm)
 - ・年超過確率1/100(熊野川流域の24時間の総雨量549mm)
 - (5)河道条件:現況
 - (6)関係市町村 三重県紀宝町、和歌山県新宮市
- ※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

新宮川水系 国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ

【現況河道】

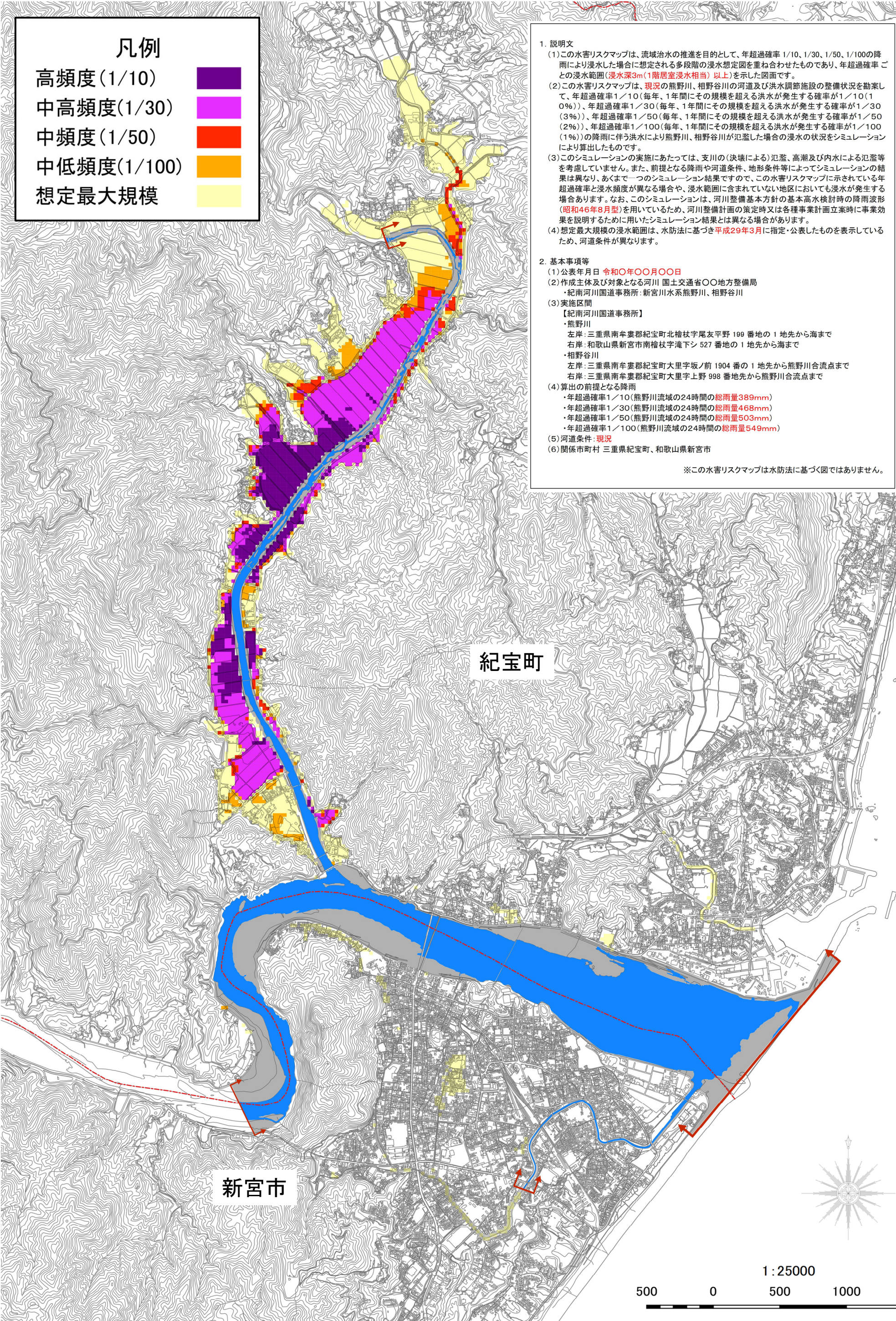
浸水深3m(1階居室浸水相当)以上の
浸水が想定される範囲を表示

【第6回熊野川流域治水協議会資料】
公表時に記載内容が変更になる場合があります。

凡例	
高頻度(1/10)	
中高頻度(1/30)	
中頻度(1/50)	
中低頻度(1/100)	
想定最大規模	

1. 説明文
 - (1)この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲(浸水深3m(1階居室浸水相当)以上)を示した図面です。
 - (2)この水害リスクマップは、現況の熊野川、相野谷川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%)、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%)、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%)、年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%))の降雨に伴う洪水により熊野川、相野谷川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
 - (3)このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(昭和46年8月型)を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
 - (4)想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成29年3月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。
2. 基本事項等
 - (1)公表年月日 令和〇年〇〇月〇〇日
 - (2)作成主体及び対象となる河川 国土交通省〇〇地方整備局
・紀南河川国道事務所:新宮川水系熊野川、相野谷川
 - (3)実施区間
【紀南河川国道事務所】
・熊野川
左岸:三重県南牟婁郡紀宝町北檜杖字尾友平野 199 番地の 1 地先から海まで
右岸:和歌山県新宮市南檜杖字滝下シ 527 番地の 1 地先から海まで
・相野谷川
左岸:三重県南牟婁郡紀宝町大里字坂ノ前 1904 番の 1 地先から熊野川合流点まで
右岸:三重県南牟婁郡紀宝町大里字上野 998 番地先から熊野川合流点まで
 - (4)算出の前提となる降雨
・年超過確率1/10(熊野川流域の24時間の総雨量389mm)
・年超過確率1/30(熊野川流域の24時間の総雨量468mm)
・年超過確率1/50(熊野川流域の24時間の総雨量503mm)
・年超過確率1/100(熊野川流域の24時間の総雨量549mm)
 - (5)河道条件:現況
 - (6)関係市町村 三重県紀宝町、和歌山県新宮市

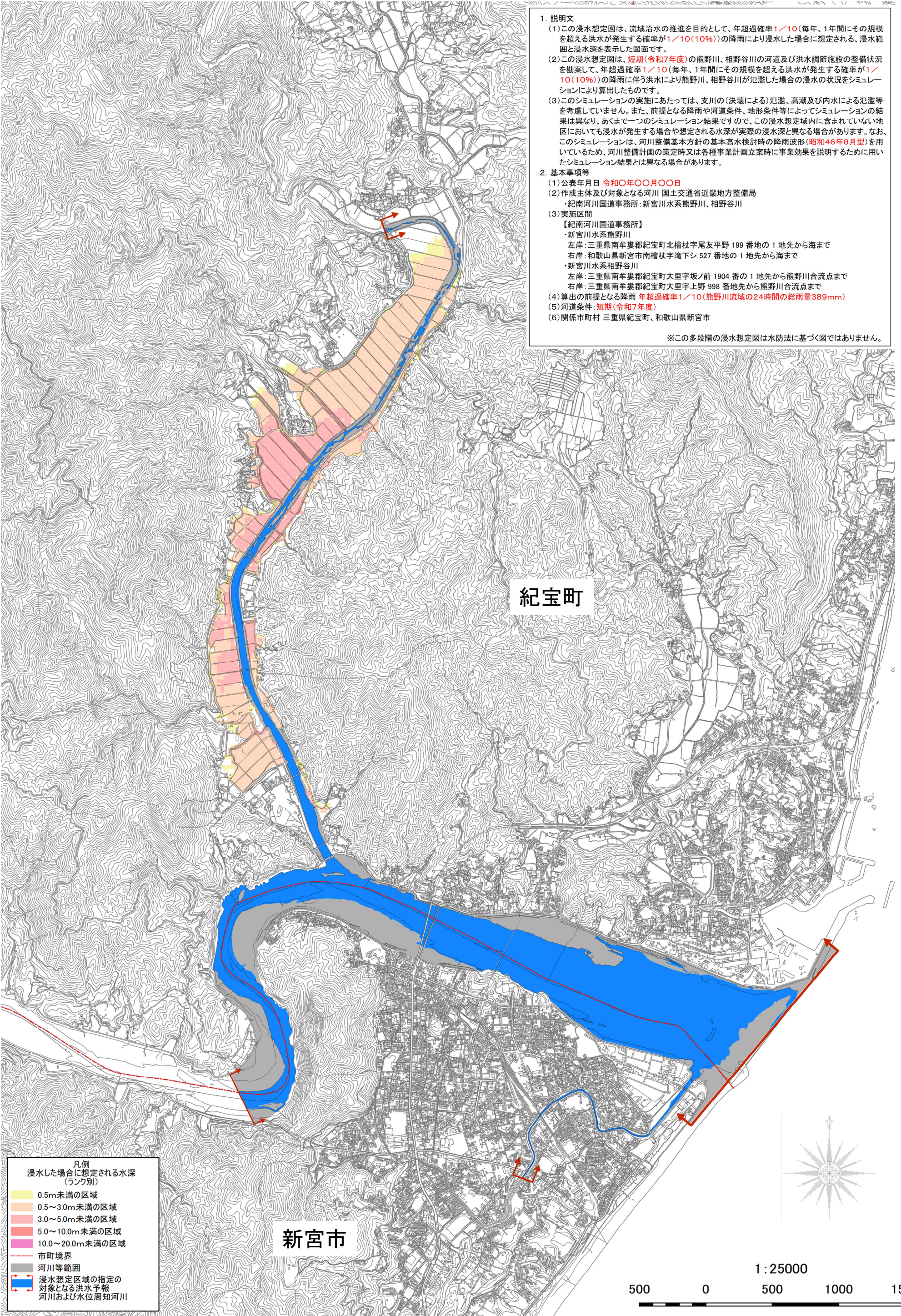
※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。



新宮川水系 国管理河川の浸水想定図（1/10規模降雨）

【短期河道】

【第6回熊野川流域治水協議会資料】
公表時に記載内容が変更になる場合があります。



1. 説明文
 (1) この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%))の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。
 (2) この浸水想定図は、短期(令和7年度)の熊野川、相野谷川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%))の降雨に伴う洪水により熊野川、相野谷川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
 (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定域内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(昭和46年8月型)を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

2. 基本事項等
 (1) 公表年月日 令和〇年〇〇月〇〇日
 (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省近畿地方整備局
 ・紀南河川国道事務所 新宮川水系熊野川、相野谷川
 (3) 実施区間
 【紀南河川国道事務所】
 ・新宮川水系熊野川
 左岸: 三重県南牟婁郡紀宝町北檜杖字尾友平野 199 番地の 1 地先から海まで
 右岸: 和歌山県新宮市南檜杖字滝下シ 527 番地の 1 地先から海まで
 ・新宮川水系相野谷川
 左岸: 三重県南牟婁郡紀宝町大里字坂ノ前 1904 番の 1 地先から熊野川合流点まで
 右岸: 三重県南牟婁郡紀宝町大里字上野 998 番地先から熊野川合流点まで
 (4) 算出の前提となる降雨 年超過確率1/10(熊野川流域の24時間の総雨量389mm)
 (5) 河道条件: 短期(令和7年度)
 (6) 関係市町村 三重県紀宝町、和歌山県新宮市

※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。

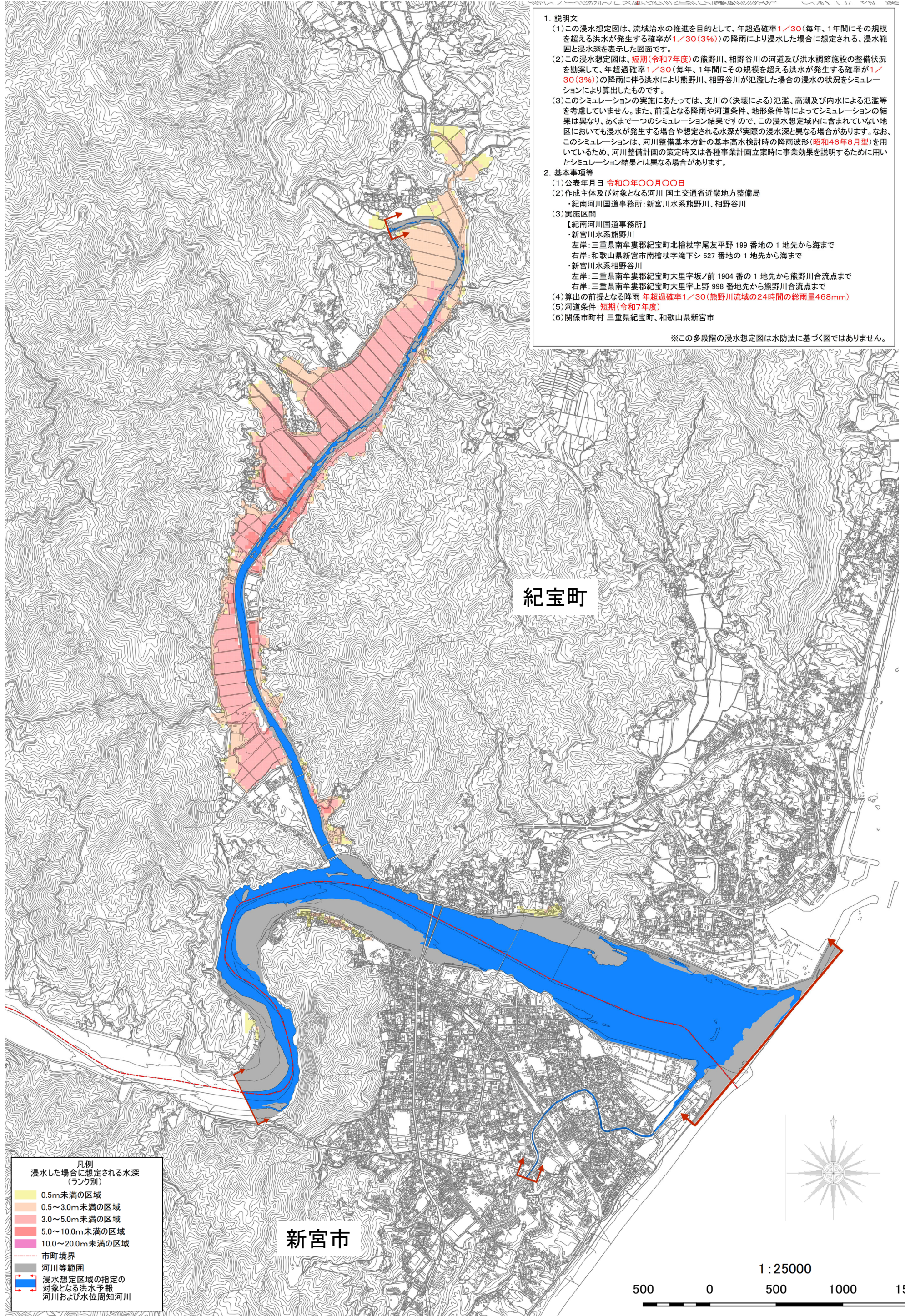
凡例
 浸水した場合に想定される水深
 (ランク別)

- 0.5m未満の区域
- 0.5~3.0m未満の区域
- 3.0~5.0m未満の区域
- 5.0~10.0m未満の区域
- 10.0~20.0m未満の区域
- 市町境界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川および水位周知河川

新宮川水系 国管理河川の浸水想定図（1/30規模降雨）

【短期河道】

【第6回熊野川流域治水協議会資料】
公表時に記載内容が変更になる場合があります。



1. 説明文
 (1) この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%))の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。
 (2) この浸水想定図は、短期(令和7年度)の熊野川、相野谷川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%))の降雨に伴う洪水により熊野川、相野谷川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
 (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定域内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(昭和46年8月型)を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

2. 基本事項等
 (1) 公表年月日 令和〇年〇〇月〇〇日
 (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省近畿地方整備局
 ・紀南河川国道事務所:新宮川水系熊野川、相野谷川
 (3) 実施区間
 【紀南河川国道事務所】
 ・新宮川水系熊野川
 左岸:三重県南牟婁郡紀宝町北檜杖字尾友平野 199 番地の 1 地先から海まで
 右岸:和歌山県新宮市南檜杖字滝下シ 527 番地の 1 地先から海まで
 ・新宮川水系相野谷川
 左岸:三重県南牟婁郡紀宝町大里字坂ノ前 1904 番の 1 地先から熊野川合流点まで
 右岸:三重県南牟婁郡紀宝町大里字上野 998 番地先から熊野川合流点まで
 (4) 算出の前提となる降雨 年超過確率1/30(熊野川流域の24時間の総雨量468mm)
 (5) 河道条件:短期(令和7年度)
 (6) 関係市町村 三重県紀宝町、和歌山県新宮市

※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。

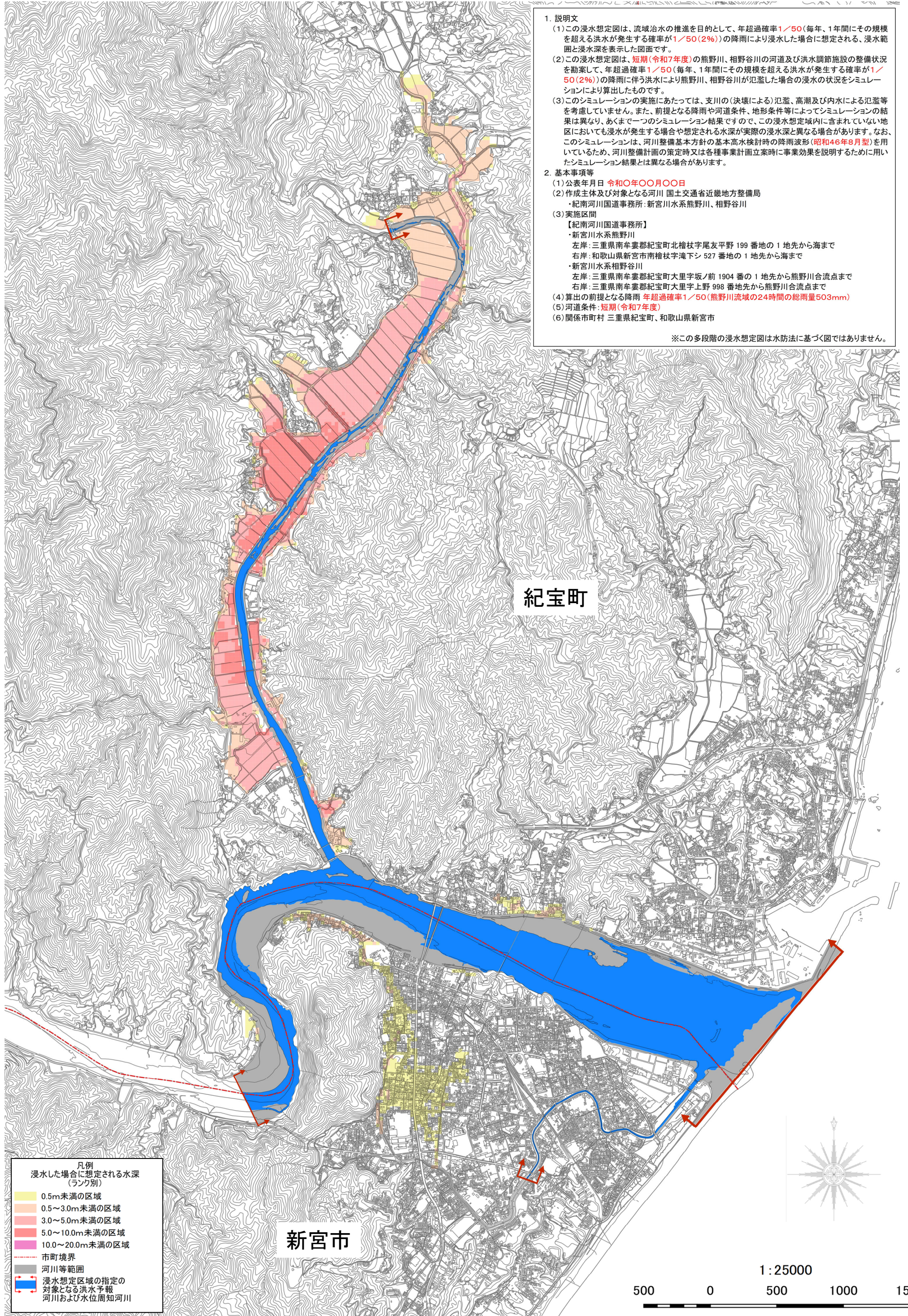
凡例
 浸水した場合に想定される水深
 (ランク別)

- 0.5m未満の区域
- 0.5~3.0m未満の区域
- 3.0~5.0m未満の区域
- 5.0~10.0m未満の区域
- 10.0~20.0m未満の区域
- 市町境界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川および水位周知河川

新宮川水系 国管理河川の浸水想定図（1/50規模降雨）

【短期河道】

【第6回熊野川流域治水協議会資料】
公表時に記載内容が変更になる場合があります。



1. 説明文
 (1) この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%))の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。
 (2) この浸水想定図は、短期(令和7年度)の熊野川、相野谷川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%))の降雨に伴う洪水により熊野川、相野谷川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
 (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定域内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(昭和46年8月型)を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

2. 基本事項等
 (1) 公表年月日 令和〇年〇〇月〇〇日
 (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省近畿地方整備局
 ・紀南河川国道事務所: 新宮川水系熊野川、相野谷川
 (3) 実施区間
 【紀南河川国道事務所】
 ・新宮川水系熊野川
 左岸: 三重県南牟婁郡紀宝町北檜杖字尾友平野 199 番地の 1 地先から海まで
 右岸: 和歌山県新宮市南檜杖字滝下シ 527 番地の 1 地先から海まで
 ・新宮川水系相野谷川
 左岸: 三重県南牟婁郡紀宝町大里字坂ノ前 1904 番の 1 地先から熊野川合流点まで
 右岸: 三重県南牟婁郡紀宝町大里字上野 998 番地先から熊野川合流点まで
 (4) 算出の前提となる降雨 年超過確率1/50(熊野川流域の24時間の総雨量503mm)
 (5) 河道条件: 短期(令和7年度)
 (6) 関係市町村 三重県紀宝町、和歌山県新宮市

※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。

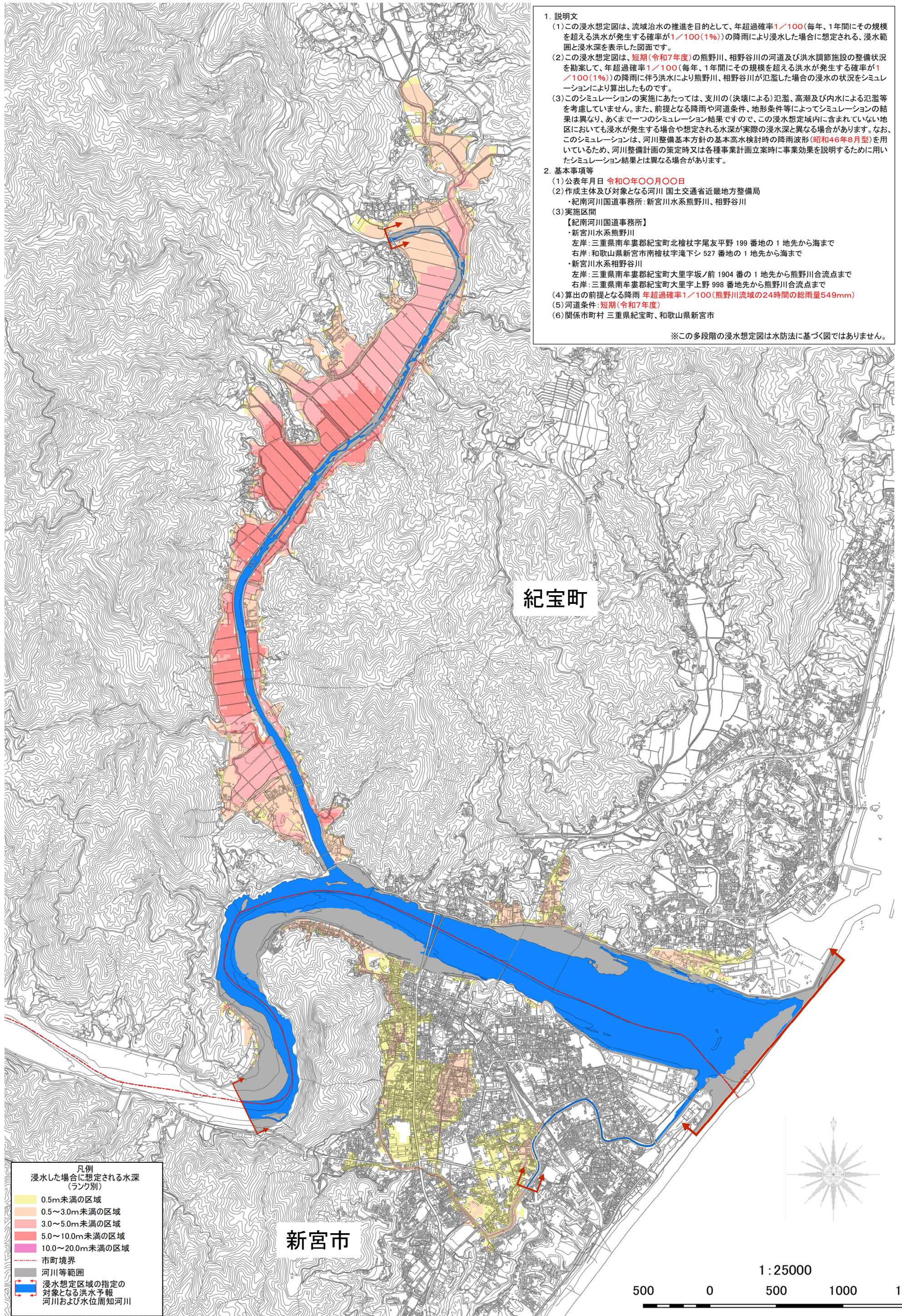
凡例
 浸水した場合に想定される水深
 (ランク別)

- 0.5m未満の区域
- 0.5~3.0m未満の区域
- 3.0~5.0m未満の区域
- 5.0~10.0m未満の区域
- 10.0~20.0m未満の区域
- 市町境界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川および水位周知河川

新宮川水系 国管理河川の浸水想定図（1/100規模降雨）

【短期河道】

【第6回熊野川流域治水協議会資料】
公表時に記載内容が変更になる場合があります。



1. 説明文
 (1) この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%))の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。
 (2) この浸水想定図は、短期(令和7年度)の熊野川、相野谷川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%))の降雨に伴う洪水により熊野川、相野谷川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
 (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定域内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(昭和46年8月型)を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

2. 基本事項等
 (1) 公表年月日 令和〇年〇〇月〇〇日
 (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省近畿地方整備局
 ・紀南河川国道事務所: 新宮川水系熊野川、相野谷川
 (3) 実施区間
 【紀南河川国道事務所】
 ・新宮川水系熊野川
 左岸: 三重県南牟婁郡紀宝町北檜杖字尾友平野 199 番地の 1 地先から海まで
 右岸: 和歌山県新宮市南檜杖字滝下シ 527 番地の 1 地先から海まで
 ・新宮川水系相野谷川
 左岸: 三重県南牟婁郡紀宝町大里字坂ノ前 1904 番の 1 地先から熊野川合流点まで
 右岸: 三重県南牟婁郡紀宝町大里字上野 998 番地先から熊野川合流点まで
 (4) 算出の前提となる降雨 年超過確率1/100(熊野川流域の24時間の総雨量549mm)
 (5) 河道条件: 短期(令和7年度)
 (6) 関係市町村 三重県紀宝町、和歌山県新宮市

※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。

凡例
 浸水した場合に想定される水深
 (ランク別)

- 0.5m未満の区域
- 0.5~3.0m未満の区域
- 3.0~5.0m未満の区域
- 5.0~10.0m未満の区域
- 10.0~20.0m未満の区域
- 市町境界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川および水位周知河川

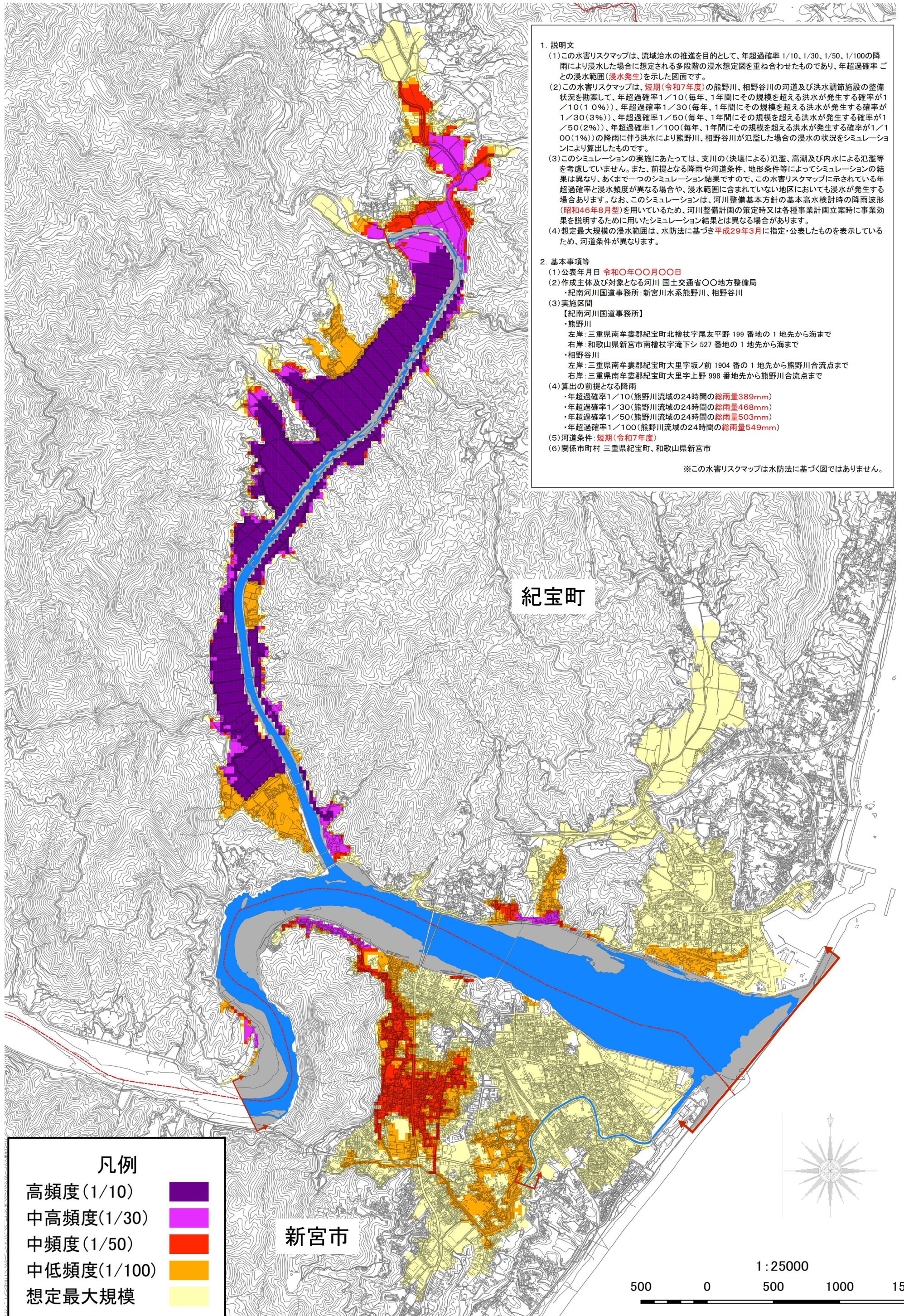
1:25000
 500 0 500 1000 1500 m

新宮川水系 国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ

【短期河道】

浸水が想定される範囲を表示

【第6回熊野川流域治水協議会資料】
公表時に記載内容が変更になる場合があります。



1. 説明文

(1)この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率 1/10、1/30、1/50、1/100の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲(浸水発生)を示した図面です。

(2)この水害リスクマップは、短期(令和7年度)の熊野川、相野谷川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率 1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が 1/10(10%)、年超過確率 1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が 1/30(3%)、年超過確率 1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が 1/50(2%)、年超過確率 1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が 1/100(1%)の降雨に伴う洪水により熊野川、相野谷川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

(3)このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(昭和46年8月型)を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

(4)想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成29年3月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2. 基本事項等

(1)公表年月日 令和〇年〇〇月〇〇日

(2)作成主体及び対象となる河川 国土交通省〇〇地方整備局
・紀南河川国道事務所:新宮川水系熊野川、相野谷川

(3)実施区間
【紀南河川国道事務所】
・熊野川
左岸:三重県南牟婁郡紀宝町北檜杖字尾友平野 199 番地の 1 地先から海まで
右岸:和歌山県新宮市南檜杖字滝下シ 527 番地の 1 地先から海まで
・相野谷川
左岸:三重県南牟婁郡紀宝町大里字坂ノ前 1904 番の 1 地先から熊野川合流点まで
右岸:三重県南牟婁郡紀宝町大里字上野 998 番地先から熊野川合流点まで

(4)算出の前提となる降雨
・年超過確率 1/10(熊野川流域の24時間の総雨量389mm)
・年超過確率 1/30(熊野川流域の24時間の総雨量468mm)
・年超過確率 1/50(熊野川流域の24時間の総雨量503mm)
・年超過確率 1/100(熊野川流域の24時間の総雨量549mm)

(5)河道条件:短期(令和7年度)

(6)関係市町村 三重県紀宝町、和歌山県新宮市

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

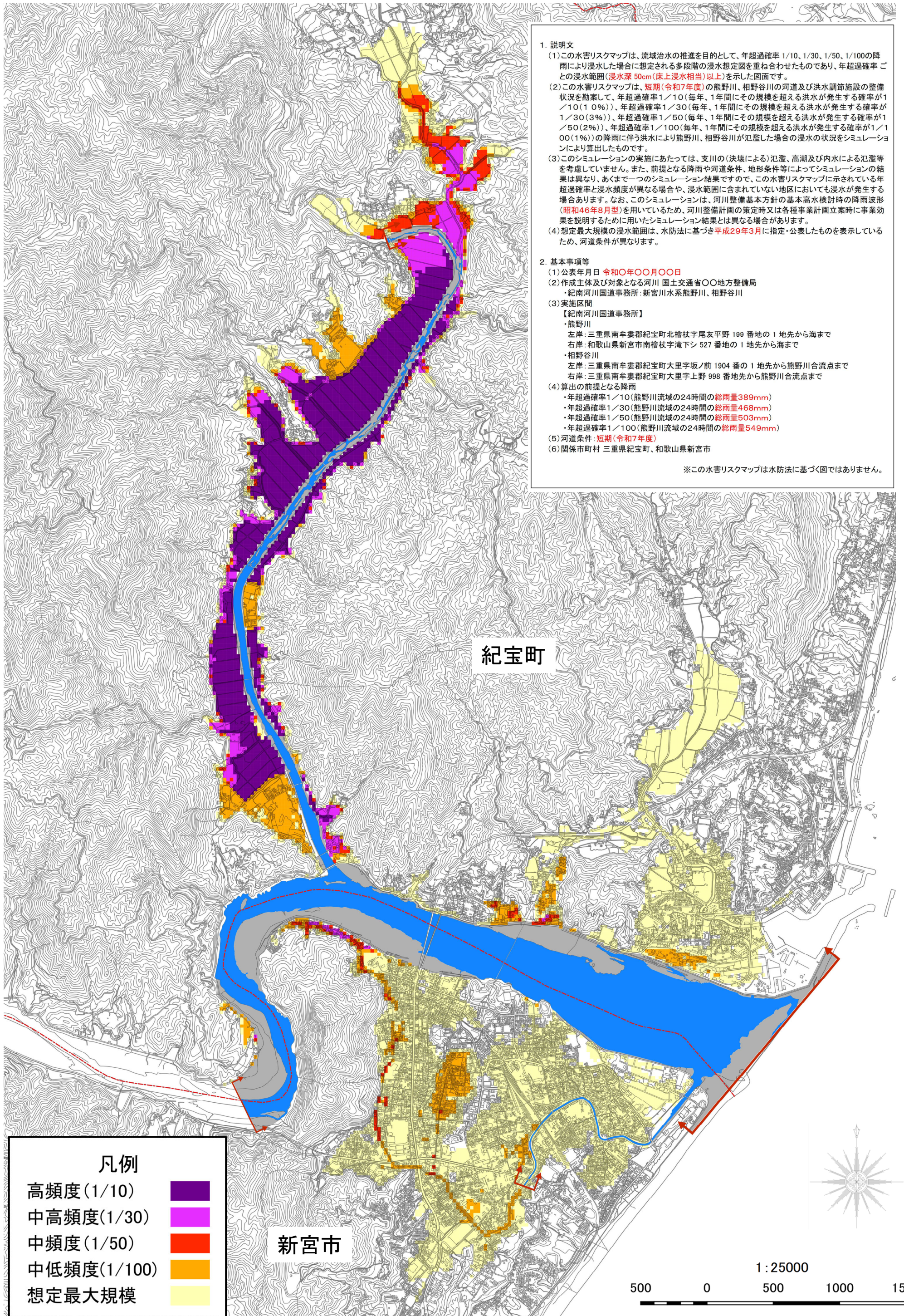
凡例	
高頻度(1/10)	■
中高頻度(1/30)	■
中頻度(1/50)	■
中低頻度(1/100)	■
想定最大規模	■

新宮川水系 国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ

【第6回熊野川流域治水協議会資料】
公表時に記載内容が変更になる場合があります。

【短期河道】

浸水深50cm(床上浸水相当)以上の
浸水が想定される範囲を表示



1. 説明文

(1)この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲(浸水深50cm(床上浸水相当)以上)を示した図面です。

(2)この水害リスクマップは、短期(令和7年度)の熊野川、相野谷川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%)、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%)、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%)、年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%)の降雨に伴う洪水により熊野川、相野谷川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

(3)このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(昭和46年8月型)を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

(4)想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成29年3月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2. 基本事項等

(1)公表年月日 令和〇年〇〇月〇〇日

(2)作成主体及び対象となる河川 国土交通省〇〇地方整備局
・紀南河川国道事務所:新宮川水系熊野川、相野谷川

(3)実施区間
【紀南河川国道事務所】
・熊野川
左岸:三重県南牟婁郡紀宝町北檜杖字尾友平野 199 番地の 1 地先から海まで
右岸:和歌山県新宮市南檜杖字滝下シ 527 番地の 1 地先から海まで
・相野谷川
左岸:三重県南牟婁郡紀宝町大里字坂ノ前 1904 番の 1 地先から熊野川合流点まで
右岸:三重県南牟婁郡紀宝町大里字上野 998 番地先から熊野川合流点まで

(4)算出の前提となる降雨
・年超過確率1/10(熊野川流域の24時間の総雨量389mm)
・年超過確率1/30(熊野川流域の24時間の総雨量468mm)
・年超過確率1/50(熊野川流域の24時間の総雨量503mm)
・年超過確率1/100(熊野川流域の24時間の総雨量549mm)

(5)河道条件:短期(令和7年度)

(6)関係市町村 三重県紀宝町、和歌山県新宮市

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

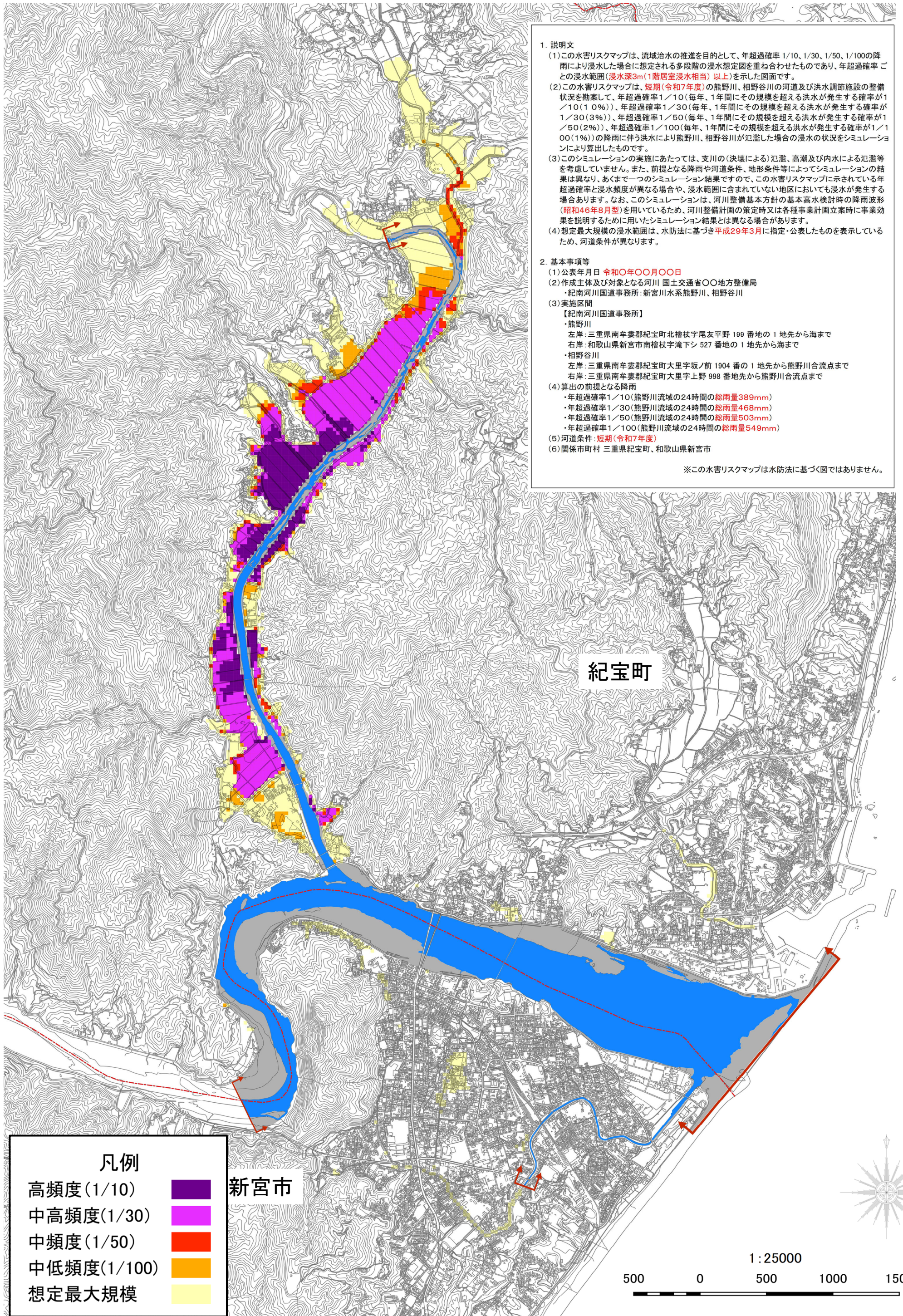
凡例	
高頻度(1/10)	■
中高頻度(1/30)	■
中頻度(1/50)	■
中低頻度(1/100)	■
想定最大規模	■

新宮川水系 国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ

浸水深3m(1階居室浸水相当)以上の
浸水が想定される範囲を表示

【短期河道】

【第6回熊野川流域治水協議会資料】
公表時に記載内容が変更になる場合があります。



1. 説明文

(1)この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲(浸水深3m(1階居室浸水相当)以上)を示した図面です。

(2)この水害リスクマップは、短期(令和7年度)の熊野川、相野谷川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%)、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%)、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%)、年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%)の降雨に伴う洪水により熊野川、相野谷川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

(3)このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(昭和46年8月型)を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

(4)想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成29年3月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2. 基本事項等

(1)公表年月日 令和〇年〇〇月〇〇日

(2)作成主体及び対象となる河川 国土交通省〇〇地方整備局
・紀南河川国道事務所:新宮川水系熊野川、相野谷川

(3)実施区間
【紀南河川国道事務所】
・熊野川
左岸:三重県南牟婁郡紀宝町北檜杖字尾友平野 199 番地の 1 地先から海まで
右岸:和歌山県新宮市南檜杖字滝下シ 527 番地の 1 地先から海まで
・相野谷川
左岸:三重県南牟婁郡紀宝町大里字坂ノ前 1904 番の 1 地先から熊野川合流点まで
右岸:三重県南牟婁郡紀宝町大里字上野 998 番地先から熊野川合流点まで

(4)算出の前提となる降雨
・年超過確率1/10(熊野川流域の24時間の総雨量389mm)
・年超過確率1/30(熊野川流域の24時間の総雨量468mm)
・年超過確率1/50(熊野川流域の24時間の総雨量503mm)
・年超過確率1/100(熊野川流域の24時間の総雨量549mm)

(5)河道条件:短期(令和7年度)

(6)関係市町村 三重県紀宝町、和歌山県新宮市

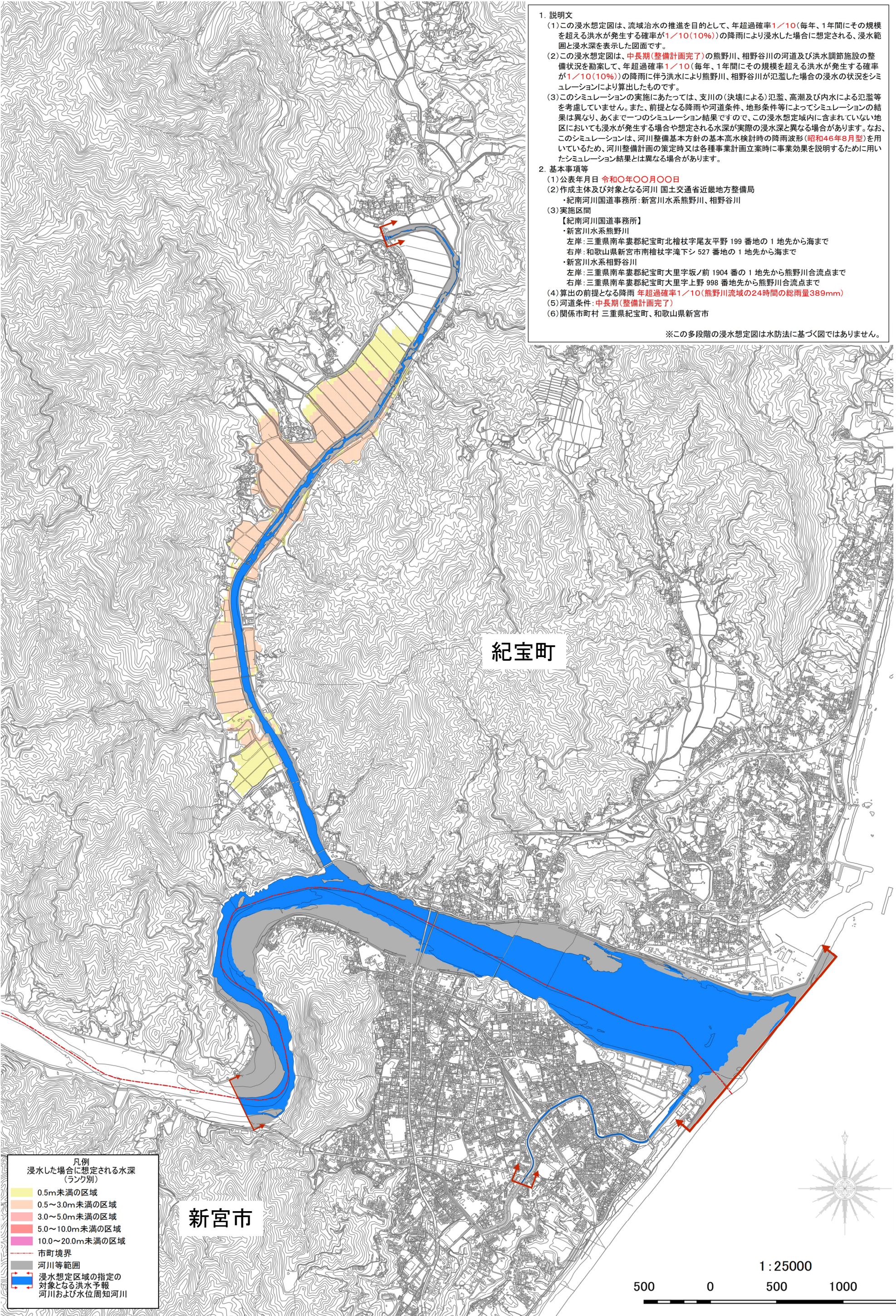
※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

凡例	
高頻度(1/10)	■
中高頻度(1/30)	■
中頻度(1/50)	■
中低頻度(1/100)	■
想定最大規模	■

新宮川水系 国管理河川の浸水想定図（1/10規模降雨）

【中長期河道】

【第6回熊野川流域治水協議会資料】
公表時に記載内容が変更になる場合があります。



1. 説明文
 (1) この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%))の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。
 (2) この浸水想定図は、中長期(整備計画完了)の熊野川、相野谷川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%))の降雨に伴う洪水により熊野川、相野谷川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
 (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定図内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(昭和46年8月型)を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

2. 基本事項等
 (1) 公表年月日 令和〇年〇〇月〇〇日
 (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省近畿地方整備局
 ・紀南河川国道事務所:新宮川水系熊野川、相野谷川
 (3) 実施区間
 【紀南河川国道事務所】
 ・新宮川水系熊野川
 左岸:三重県南牟婁郡紀宝町北檜杖字尾友平野 199 番地の 1 地先から海まで
 右岸:和歌山県新宮市南檜杖字滝下シ 527 番地の 1 地先から海まで
 ・新宮川水系相野谷川
 左岸:三重県南牟婁郡紀宝町大里字坂ノ前 1904 番の 1 地先から熊野川合流点まで
 右岸:三重県南牟婁郡紀宝町大里字上野 998 番地先から熊野川合流点まで
 (4) 算出の前提となる降雨 年超過確率1/10(熊野川流域の24時間の総雨量389mm)
 (5) 河道条件:中長期(整備計画完了)
 (6) 関係市町村 三重県紀宝町、和歌山県新宮市

※この多段階の浸水想定図は水防法に基づいた図ではありません。

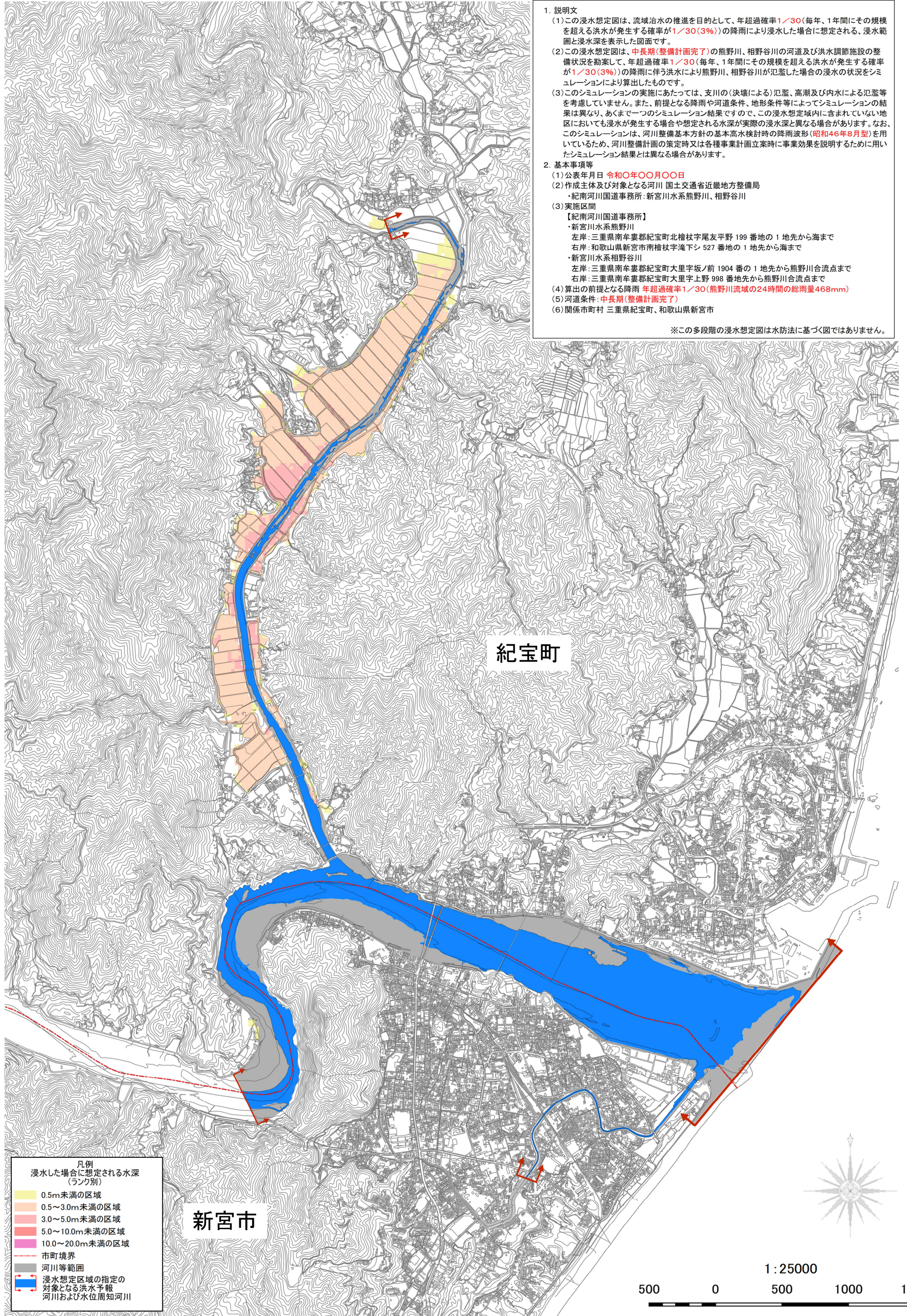
凡例
 浸水した場合に想定される水深
 (ランク別)

- 0.5m未満の区域
- 0.5~3.0m未満の区域
- 3.0~5.0m未満の区域
- 5.0~10.0m未満の区域
- 10.0~20.0m未満の区域
- 市町境界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川および水位周知河川

新宮川水系 国管理河川の浸水想定図（1/30規模降雨）

【中長期河道】

【第6回熊野川流域治水協議会資料】
公表時に記載内容が変更になる場合があります。



1. 説明文
 - (1) この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%))の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。
 - (2) この浸水想定図は、中長期(整備計画完了)の熊野川、相野谷川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%))の降雨に伴う洪水により熊野川、相野谷川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
 - (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定域内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(昭和46年8月型)を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
 2. 基本事項等
 - (1) 公表年月日 令和〇年〇〇月〇〇日
 - (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省近畿地方整備局
 - ・紀南河川国道事務所: 新宮川水系熊野川、相野谷川
 - (3) 実施区間
 - 【紀南河川国道事務所】
 - ・新宮川水系熊野川
 - 左岸: 三重県南牟婁郡紀宝町北檜杖字尾友平野 199 番地の 1 地先から海まで
 - 右岸: 和歌山県新宮市南檜杖字滝下シ 527 番地の 1 地先から海まで
 - ・新宮川水系相野谷川
 - 左岸: 三重県南牟婁郡紀宝町大里字坂ノ前 1904 番の 1 地先から熊野川合流点まで
 - 右岸: 三重県南牟婁郡紀宝町大里字上野 998 番地先から熊野川合流点まで
 - (4) 算出の前提となる降雨 年超過確率1/30(熊野川流域の24時間の総雨量468mm)
 - (5) 河道条件: 中長期(整備計画完了)
 - (6) 関係市町村 三重県紀宝町、和歌山県新宮市
- ※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。

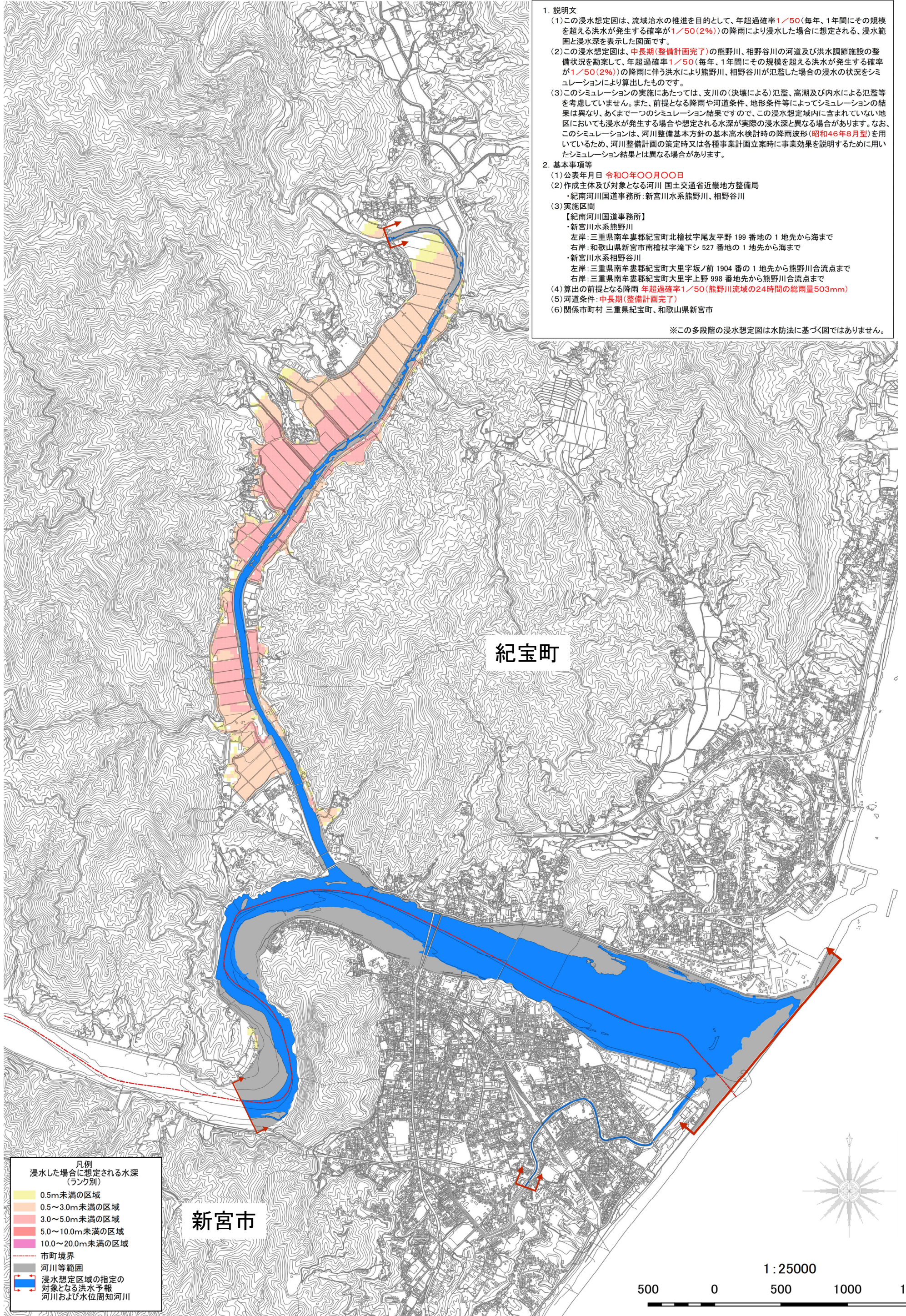
凡例
浸水した場合に想定される水深
(ランク別)

0.5m未満の区域
0.5~3.0m未満の区域
3.0~5.0m未満の区域
5.0~10.0m未満の区域
10.0~20.0m未満の区域
市町境界
河川等範囲
浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報 河川および水位周知河川

新宮川水系 国管理河川の浸水想定図（1/50規模降雨）

【中長期河道】

【第6回熊野川流域治水協議会資料】
公表時に記載内容が変更になる場合があります。



1. 説明文
 (1)この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%))の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。
 (2)この浸水想定図は、中長期(整備計画完了)の熊野川、相野谷川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%))の降雨に伴う洪水により熊野川、相野谷川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
 (3)このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定域内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(昭和46年8月型)を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

2. 基本事項等
 (1)公表年月日 令和〇年〇〇月〇〇日
 (2)作成主体及び対象となる河川 国土交通省近畿地方整備局
 ・紀南河川国道事務所:新宮川水系熊野川、相野谷川
 (3)実施区間
 【紀南河川国道事務所】
 ・新宮川水系熊野川
 左岸:三重県南牟婁郡紀宝町北檜杖字尾友平野 199 番地の 1 地先から海まで
 右岸:和歌山県新宮市南檜杖字滝下シ 527 番地の 1 地先から海まで
 ・新宮川水系相野谷川
 左岸:三重県南牟婁郡紀宝町大里字坂ノ前 1904 番の 1 地先から熊野川合流点まで
 右岸:三重県南牟婁郡紀宝町大里字上野 998 番地先から熊野川合流点まで
 (4)算出の前提となる降雨 年超過確率1/50(熊野川流域の24時間の総雨量503mm)
 (5)河道条件:中長期(整備計画完了)
 (6)関係市町村 三重県紀宝町、和歌山県新宮市

※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。

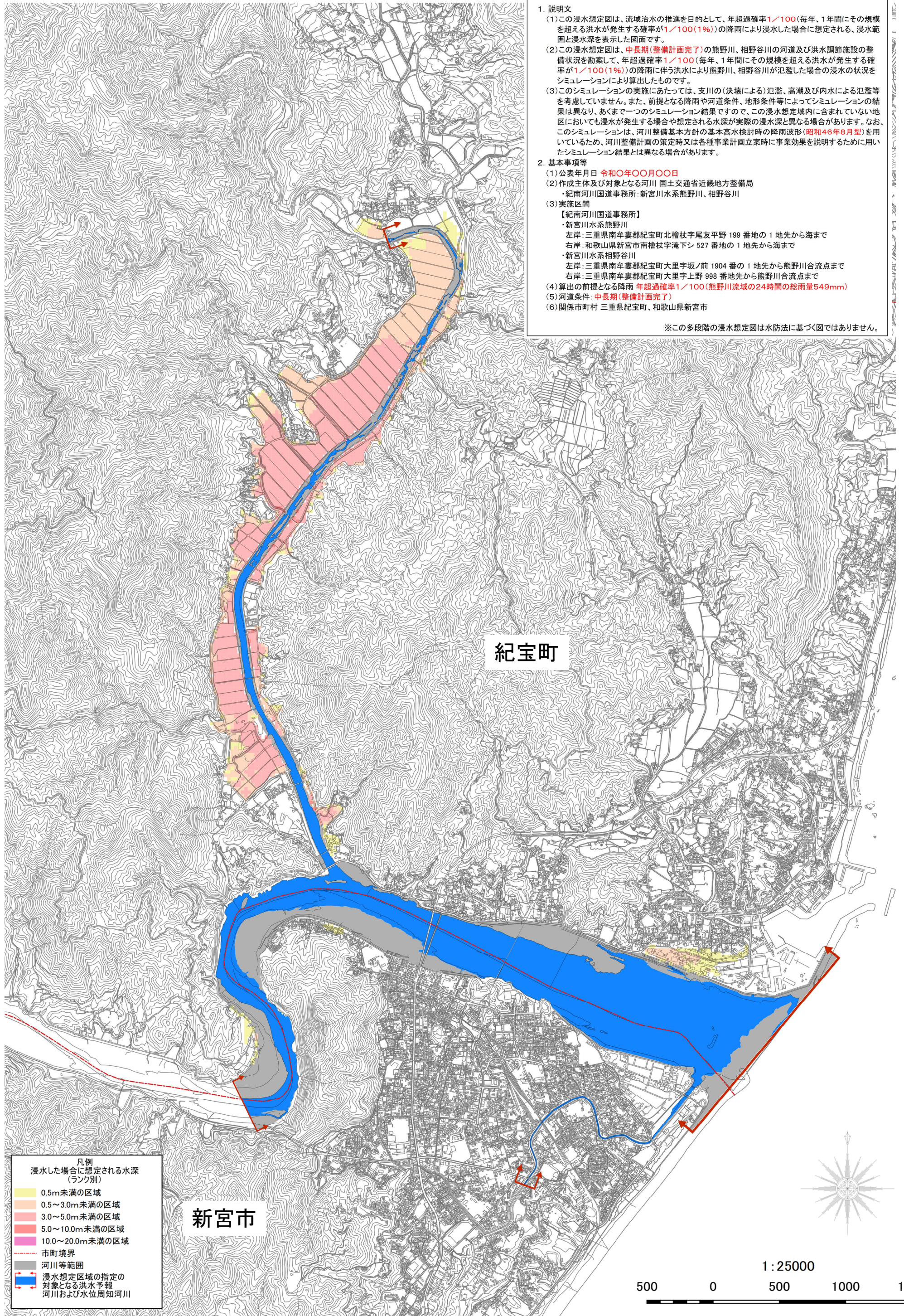
凡例
 浸水した場合に想定される水深
 (ランク別)

- 0.5m未満の区域
- 0.5~3.0m未満の区域
- 3.0~5.0m未満の区域
- 5.0~10.0m未満の区域
- 10.0~20.0m未満の区域
- 市町境界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川および水位周知河川

新宮川水系 国管理河川の浸水想定図（1/100規模降雨）

【中長期河道】

【第6回熊野川流域治水協議会資料】
公表時に記載内容が変更になる場合があります。



1. 説明文
 (1)この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%))の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。
 (2)この浸水想定図は、中長期(整備計画完了)の熊野川、相野谷川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%))の降雨に伴う洪水により熊野川、相野谷川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
 (3)このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定域内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(昭和46年8月型)を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

2. 基本事項等
 (1)公表年月日 令和0年00月00日
 (2)作成主体及び対象となる河川 国土交通省近畿地方整備局
 ・紀南河川国道事務所:新宮川水系熊野川、相野谷川
 (3)実施区間
 【紀南河川国道事務所】
 ・新宮川水系熊野川
 左岸:三重県南牟婁郡紀宝町北檜杖字尾友平野 199 番地の 1 地先から海まで
 右岸:和歌山県新宮市南檜杖字滝下シ 527 番地の 1 地先から海まで
 ・新宮川水系相野谷川
 左岸:三重県南牟婁郡紀宝町大里字坂ノ前 1904 番の 1 地先から熊野川合流点まで
 右岸:三重県南牟婁郡紀宝町大里字上野 998 番地先から熊野川合流点まで
 (4)算出の前提となる降雨 年超過確率1/100(熊野川流域の24時間の総雨量549mm)
 (5)河道条件:中長期(整備計画完了)
 (6)関係市町村 三重県紀宝町、和歌山県新宮市

※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。

凡例
 浸水した場合に想定される水深
 (ランク別)

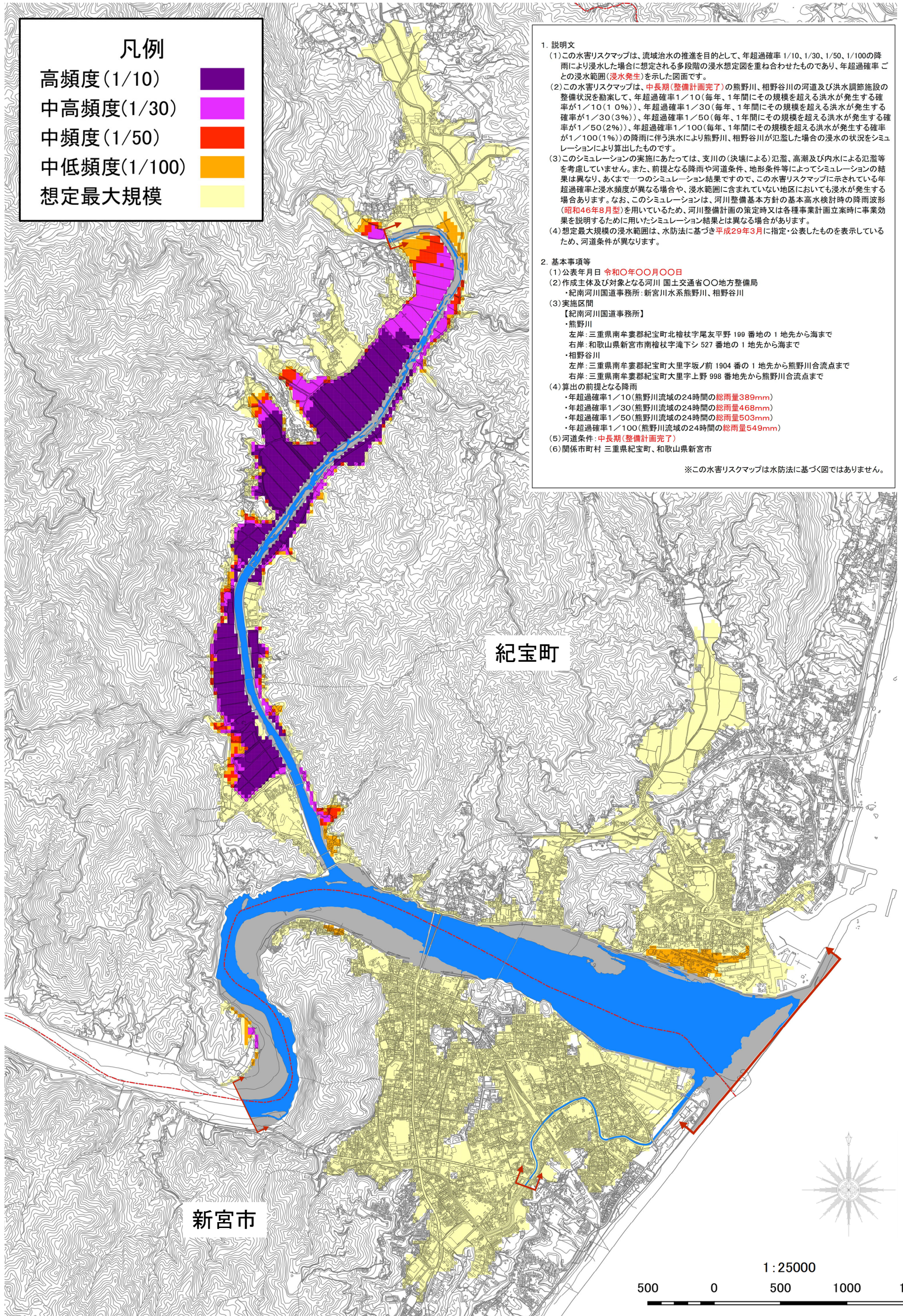
- 0.5m未満の区域
- 0.5~3.0m未満の区域
- 3.0~5.0m未満の区域
- 5.0~10.0m未満の区域
- 10.0~20.0m未満の区域
- 市町境界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川および水位周知河川

新宮川水系 国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ

【中長期河道】

浸水が想定される範囲を表示

【第6回熊野川流域治水協議会資料】
公表時に記載内容が変更になる場合があります。



凡例

- 高頻度(1/10)
- 中高頻度(1/30)
- 中頻度(1/50)
- 中低頻度(1/100)
- 想定最大規模

1. 説明文

- (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率 1/10、1/30、1/50、1/100 の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲(浸水発生)を示した図面です。
- (2) この水害リスクマップは、中長期(整備計画完了)の熊野川、相野谷川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率 1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が 1/10(10%)、年超過確率 1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が 1/30(3%)、年超過確率 1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が 1/50(2%)、年超過確率 1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が 1/100(1%))の降雨に伴う洪水により熊野川、相野谷川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
- (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(昭和46年8月型)を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
- (4) 想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成29年3月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2. 基本事項等

- (1) 公表年月日 **令和〇年〇〇月〇〇日**
- (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省〇〇地方整備局
・紀南河川国道事務所: 新宮川水系熊野川、相野谷川
- (3) 実施区間
【紀南河川国道事務所】
・熊野川
左岸: 三重県南牟婁郡紀宝町北檜杖字尾友平野 199 番地の 1 地先から海まで
右岸: 和歌山県新宮市南檜杖字滝下シ 527 番地の 1 地先から海まで
・相野谷川
左岸: 三重県南牟婁郡紀宝町大里字坂ノ前 1904 番の 1 地先から熊野川合流点まで
右岸: 三重県南牟婁郡紀宝町大里字上野 998 番地先から熊野川合流点まで
- (4) 算出の前提となる降雨
・年超過確率 1/10(熊野川流域の24時間の総雨量389mm)
・年超過確率 1/30(熊野川流域の24時間の総雨量468mm)
・年超過確率 1/50(熊野川流域の24時間の総雨量503mm)
・年超過確率 1/100(熊野川流域の24時間の総雨量549mm)
- (5) 河道条件: 中長期(整備計画完了)
- (6) 関係市町村 三重県紀宝町、和歌山県新宮市

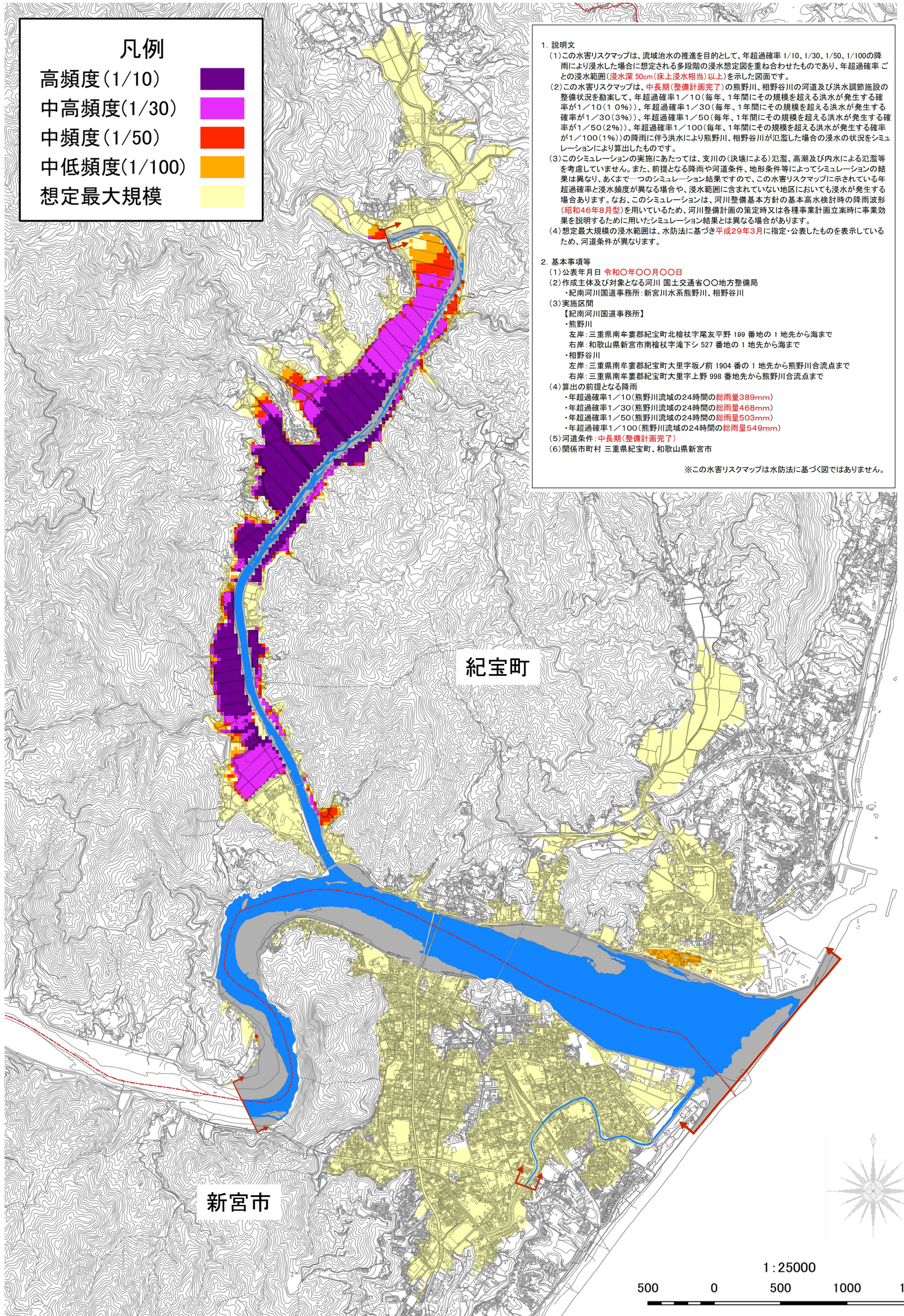
※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

新宮川水系 国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ

【中長期河道】

浸水深50cm(床上浸水相当)以上の
浸水が想定される範囲を表示

【第6回熊野川流域治水協議会資料】
公表時に記載内容が変更になる場合があります。



凡例

- 高頻度(1/10)
- 中高頻度(1/30)
- 中頻度(1/50)
- 中低頻度(1/100)
- 想定最大規模

1. 説明文

- (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率 1/10、1/30、1/50、1/100 の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲(浸水深 50cm(床上浸水相当)以上)を示した図面です。
- (2) この水害リスクマップは、中長期(整備計画完了)の熊野川、相野谷川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率 1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が 1/10(10%)、年超過確率 1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が 1/30(3%)、年超過確率 1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が 1/50(2%)、年超過確率 1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が 1/100(1%))の降雨に伴う洪水により熊野川、相野谷川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
- (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(昭和46年8月型)を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
- (4) 想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成29年3月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2. 基本事項等

- (1) 公表年月日 令和〇年〇〇月〇〇日
- (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省〇〇地方整備局
・紀南河川国道事務所: 新宮川水系熊野川、相野谷川
- (3) 実施区間
【紀南河川国道事務所】
・熊野川
左岸: 三重県南牟婁郡紀宝町北檜杖字尾友平野 199 番地の 1 地先から海まで
右岸: 和歌山県新宮市南檜杖字滝下シ 527 番地の 1 地先から海まで
・相野谷川
左岸: 三重県南牟婁郡紀宝町大里字坂ノ前 1904 番の 1 地先から熊野川合流点まで
右岸: 三重県南牟婁郡紀宝町大里字上野 998 番地先から熊野川合流点まで
- (4) 算出の前提となる降雨
・年超過確率 1/10(熊野川流域の24時間の総雨量389mm)
・年超過確率 1/30(熊野川流域の24時間の総雨量468mm)
・年超過確率 1/50(熊野川流域の24時間の総雨量503mm)
・年超過確率 1/100(熊野川流域の24時間の総雨量549mm)
- (5) 河道条件: 中長期(整備計画完了)
- (6) 関係市町村 三重県紀宝町、和歌山県新宮市






※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

新宮川水系 国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ

【中長期河道】

浸水深3m(1階居室浸水相当)以上の
浸水が想定される範囲を表示

【第6回熊野川流域治水協議会資料】
公表時に記載内容が変更になる場合があります。

凡例	
高頻度(1/10)	
中高頻度(1/30)	
中頻度(1/50)	
中低頻度(1/100)	
想定最大規模	

1. 説明文

(1)この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲(浸水深3m(1階居室浸水相当)以上)を示した図面です。

(2)この水害リスクマップは、中長期(整備計画完了)の熊野川、相野谷川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%)、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%)、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%)、年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%))の降雨に伴う洪水により熊野川、相野谷川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

(3)このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(昭和46年8月型)を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

(4)想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成29年3月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2. 基本事項等

(1)公表年月日 令和〇年〇〇月〇〇日

(2)作成主体及び対象となる河川 国土交通省〇〇地方整備局
・紀南河川国道事務所:新宮川水系熊野川、相野谷川

(3)実施区間
【紀南河川国道事務所】
・熊野川
左岸:三重県南牟婁郡紀宝町北檜杖字尾友平野 199 番地の 1 地先から海まで
右岸:和歌山県新宮市南檜杖字滝下シ 527 番地の 1 地先から海まで
・相野谷川
左岸:三重県南牟婁郡紀宝町大里字坂ノ前 1904 番の 1 地先から熊野川合流点まで
右岸:三重県南牟婁郡紀宝町大里字上野 998 番地先から熊野川合流点まで

(4)算出の前提となる降雨
・年超過確率1/10(熊野川流域の24時間の総雨量389mm)
・年超過確率1/30(熊野川流域の24時間の総雨量468mm)
・年超過確率1/50(熊野川流域の24時間の総雨量503mm)
・年超過確率1/100(熊野川流域の24時間の総雨量549mm)

(5)河道条件:中長期(整備計画完了)

(6)関係市町村 三重県紀宝町、和歌山県新宮市

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

